

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-110)、廃棄物管理施設(85)、MOX燃料加工施設(2-69))」
2. 日時：令和5年10月24日(火) 13時30分～16時50分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
核燃料施設審査部門
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)
古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、横山原子力規制専門員
日本原燃株式会社
燃料製造事業部 燃料製造建設所 許認可業務課長兼再処理事業部 副部長
他4名
5. 要旨
 - (1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年10月17日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。
 - ・構造設計等の設計項目の整理方針
 - ・重大事故等対処設備の設計に係る要求事項の整理
 - (2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。
 - ・構造設計等の設計項目の整理方針については、設計項目間の紐付けや構造設計等の具体の説明例を示すとともに、それらの考え方を明らかにすることにより、各条文で平仄の合った説明ができるよう整理を進める。
 - ・重大事故等対処設備の設計に係る要求事項の整理については、設計基準対象施設の要求事項との関係や要求事項の類型を改めて整理するとともに、これら整理結果の展開が明らかになるように全体像を整理する。
6. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他
提出資料
なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画

の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

・ 令和5年10月17日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	録を開始しました。
0:00:04	規制庁横山です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:10	本日のヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった再処理施設及び廃棄物管理施設、
0:00:18	令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設について、10月17日提出の資料をもとにヒアリングを行うものになります。
0:00:28	規制庁側の出席者ですけれども、本庁側からコサク、
0:00:32	オオハシを館、
0:00:35	ヨコヤマ、
0:00:36	WEBからの出席者がハバサキ。
0:00:39	フジワラアライ。
0:00:42	カミデ。
0:00:43	オノ以上となります。
0:00:45	それでは日本原燃から出席者の紹介と議題の構成と、
0:00:51	構成の確認、あと説明範囲と、本日の達成目標についてお願いします。
0:00:58	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:01:01	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:05	Steeringチームより、イシハラ、
0:01:09	イシグロ、
0:01:10	タカヤ、
0:01:11	サポートメンバーといたしまして、セガワシミズ。
0:01:16	あと六ヶ所より、MOX及び再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:24	本日も確認いただきます資料でございますけれども先ほど紹介ありました10月17日ご提出差し上げました。
0:01:32	共通12における作成ガイド。
0:01:35	括弧案及び
0:01:37	FAの要求事項の整備、学校要求事項とBaby設計の関係整備。
0:01:44	この二つの資料のご確認をさせていただきたいと思っております。
0:01:49	それでは説明の方開始させていただきます。よろしく申し上げます。
0:01:58	はい。宮城ニシダでございます。それでは、まず、供給量における作成ガイドから説明をさせていただきたいと思っております。
0:02:08	この作成ガイドですが右下3ページからですかね、1ポツから始まってまして。

0:02:17	すいません正直ですねどこまでか計画課は悩みや、まだ悩んでいます。ただ基本は共通 12 という、本部、参考資料も含めたパッケージがあって、
0:02:30	そこで共通順位とは何か、そこでどういうものを作っていくかというベースになる情報があると、それをちゃんと読んだ上で、作成する際の、
0:02:40	ポイントをガイドで解説をすると、いうことをベースに、まずは今作っているという状況でございます。
0:02:49	そういう意味で 1 ポツの目的、2 ポツでいう、対象、
0:02:56	表に資料 3、特に作る上で注意、注意が必要な資料に資料 3 をターゲットにして、
0:03:03	作成上の注意事項有意事項、考慮事項といったものを展開をするということで整理をさせていただきました。
0:03:11	まだ正直できてない部分もあると思ってますのでそういった部分も含めて説明をさせていただきたいと思います。
0:03:21	3 ポツのところ資料二、三における具体物を作る時の注意事項等ということで、3.1 が資料 2、3.2 が資料 3。
0:03:32	ということで、展開をさせていただいてございます。
0:03:35	3.1 の資料につきましては、特に基本設計方針等の要求事項から、
0:03:42	設計項目、これをちゃんと抜け漏れなく、展開をするということが一つのターゲットだと思っています。
0:03:51	そのために、aポツがいくつか展開されてますが、一つ目の物では、抜けもF設計項目に要求を踏まえながらしっかり展開をすると。
0:04:03	いうこと。その際には、基本設計方針の要求種別、これ
0:04:08	もう少し解説をしなければと言いながら二つ目のポツでいきなりそれぞれの別紙 2 で書いたものだよと、いうことを書いてますので、そことの点関係はもうちょっと整理が必要かなと思いますが、
0:04:21	この要求種別を見ながら、まず基本は、要求種別から設計項目を単純にまず展開をすると、いうことをやった上で、
0:04:31	それだけでは足りないところをちゃんと追加としていきなさいと、その際の注意事項が二つ目のポツで語っていることだという位置付けで、書いておりますそう見えない部分はまだ書き方がよくないという点だと思いますが、
0:04:47	そういう思いで展開をさせていただいてます。
0:04:50	特に冒頭宣言定義のチーム、あと用評価要求のチーム、運用要求のチーム、こういったものは、
0:04:58	本来の冒頭宣言なり定義等、役割通りになっているかという点であるとか、評価要求だからといって評価と単純に紐づけるだけではなくて、

0:05:11	評価の前提になるような設計をしっかりと抜き出して、設計項目として展開をしないということを、ガイドの中では、解説をしていることに、
0:05:22	解説をすることにさせていただいています。
0:05:27	右下、3 ページからの下からが、冒頭宣言定義といったもの。
0:05:34	右下 4 ページの下の方からは評価要求の話ということでそれぞれ、それを展開する際の注意事項。
0:05:44	程度を書いているということでございます。
0:05:48	特に評価要求のところは、MOXの負圧の維持といったことによる評価であったり、溢水の評価要求、もうしかフラグが立ててないもの。
0:06:02	こういったものから、その設計の評価の前提になるような設計というのも、しっかりと示していく必要があるので、そういったところに対して適切な
0:06:12	設計項目を展開をすると、というようなことを、記載をしていると、いうこと
0:06:19	でございます。
0:06:19	これは明日のある一斉の、前回のヒアリングですね、ワダの議論になったところを、解説を書いているということでございます。
0:06:31	右下 6 ページからは運用要求でございます。こちらも保安規定に定める
0:06:44	といったことで実際、設計とのリンクであったり、その前の評価用、
0:06:44	イノウエ要求だったりの要求種別に対して、運用とのコラボで設計を達成するようなものがあれば、近いて義務づけをしていかなければいけない。
0:06:54	というようなことを、整理をしたということでございます。
0:07:04	ここで谷ダイトウをもって今後出さなきゃいけないと思っているのが確かに先ほど言ったように、
0:07:13	だっけな。
0:07:14	共通 0 の本文があることを前提に語ってますので、
0:07:19	共通順位の本文で言うと、資料 2 のところの、解説。
0:07:30	10 月 23 日に打ち出した共通類でいきますと、
0:07:35	右下、
0:07:37	27 ページから 2.3 というのがあってそこにシステム設計、構造設計配置設計評価ということのそれぞれの項目に対してどういうものを割り当てるかと。
0:07:49	いうことを書いてますがここももう少しガイドでは解説がいいのかなと思ってます。ここでしっかりと解説をしていかないと、何をシステム設計或いは構造設計内容配置設計と説明すべきかと。
0:08:02	いうところがぶれ始めると、それぞれの割付がまたまちまちになってしまうということでその解説も、

0:08:11	足していこうというふうに思っているところでございます。
0:08:16	はい。
0:08:17	で、右下 7 ページからが資料 3 の話でございます。こちらの資料 3 で資料 2 を割り付けた設計項目系説明分類設計項目の関係を、
0:08:31	ベースに資料 3 では、具体の設計を展開していくんだと、いうこと。
0:08:37	このときに、要求事項っていうのがどういう要求なのかをしっかりと理解した上で、それを達成するために必要な設計を具体的に示すと。
0:08:49	いうこと。
0:08:50	あとはその設計を語るときには、可能な限り、それを分解して、
0:08:56	一つ一つ、設計として語るものは語っていくんだと、いうことが、
0:09:03	この 3 点に、(1)のところで書いた趣旨でございます。
0:09:08	例えばですが、3.2(1)の二つほどポツ三つ目のポツで窮状地区を達成するために設計上考慮する施設要素を網羅的に挙げて、
0:09:20	それぞれに対してしっかり構造設計等を示すと。
0:09:23	というようなことでございます。
0:09:26	また、共通点本部でも書いてますが 4 ポツ目ですね、資料 3 で設計を具体化した際に、
0:09:34	その情報、資料 2 の展開をベースにと言いましたが、そこで不足がある場合は資料 2 にフィードバックをかけると、いうことを整理をしているということでございます。
0:09:47	こういったところも、具体例がやはりないとなかなか伝わりにくいなということもあって、そのさらに後ろの方にいろいろ具体例を示したんですがこの具体例と頭の文章のリンクも、
0:10:00	今ひとつできてないところは整理が必要だと、いうふうに認識をしています。
0:10:06	その上で、五つ目のポツですかね 2、マニーさんで展開をするときの設置への具体化ブレイクの仕方の、
0:10:16	基本的な考え方というのを展開をしています。
0:10:21	全体の要求から系統系統から機器へ計器からVへということでブレイクしながらどんどん要求を
0:10:32	具体化して、
0:10:33	達成できるかどうかというのを確認をしていくと、いうことだと認識をしています。
0:10:39	右下 8 ページにそれを具体的に示した例っていうのを展開を示していますが、

0:10:46	これは本文というのは別紙にあってもいいのかなというふうには思ってますこの上にある考え方を、要求から系統へ系統から聞き駅から、
0:10:56	宇井へと言う事がブレイクの仕方を、具体例を示して行きたかったという趣旨で書いているところでございます。
0:11:04	右下 10 ページからが(2)ということで、これも正直具体例が幾つか並んでいるところでございます。
0:11:14	システム設計の整理に於いて、いろいろな生産上の設計を考えなきゃいけないといったようなことも、展開をする。以前、MOXいろいろ議論になったところを、
0:11:29	具体的な例示で展開をするということでしています。ただこれも
0:11:34	こういった注意事項が、その前の文章上に表れてないところがあり、あるので、文章に書いた上で、これは別紙で例示として展開をするというやり方の方が、ガイドとしてはいいのかなというふうには思ってます。
0:11:48	もう一つ、この 3t の中で、3.2 で示すが 3.1 で示すかまだ正直頭が整理できてませんが、
0:11:57	先ほどあった生産上の要求事項だけではなくて、他の要求事項、いわゆる議論に、他の場に出てます。
0:12:07	安全機能を有する施設以外の施設との関係、要求事項との関係の整理ということも、
0:12:15	この中で具体例も含めて考えなきゃいけないこととしてあげて、整理をしていく必要があるかなというふうには思っているところでございます。
0:12:26	はい。
0:12:29	ちょっと言い忘れたところもう 1 回戻りますがすいません。
0:12:34	具体例とかも具体的にどうやってやるかっていうのを、しっかりと示していかないとはらつくなという気がしているところは、
0:12:43	右下、
0:12:44	3 ページですね。
0:12:46	3 ページの下から 4 ページの頭にかけて、
0:12:51	冒頭制限の位置付けを書いています。冒頭宣言ってのはいわゆる共通的な冒頭で共通的な要求事項を示すので、これ具体的には、設計はその下に、冒頭制限の新たに出てくる基本設計方針で、
0:13:06	具体を展開していると、ということが前提だと思ってます。
0:13:11	本当にそうなるのか、冒頭宣言で本当にいいのかと、いうことを、しっかり整理をしていく必要があると思っましてこの整理の仕方というのも、このガイドの中で解説をしていきたいなと思っってます。
0:13:24	それーが展開をしないといけないと思っってたもう一つの項目でした。はい。

0:13:31	ガイドとしての説明は以上になります。
0:13:38	規制庁横山です。それではこちらのガイドについて規制庁側からコメント、確認等ありましたらお願いします。
0:13:50	規制庁の荒井です。
0:13:53	藤 3 ページ目をお願いします。
0:13:59	3 ポツですかね、資料、今回は作業者が、
0:14:05	特になんていうか、
0:14:10	要点作成する際に要点っていうのが資料 2 と 3 の展開のやり方っていうところで、
0:14:18	その 3 ポツの 3.1 のところ
0:14:22	注意事項として設計項目を展開する際の留意点が示されてると理解しているんですけど。
0:14:29	その展開のやり方っていうのは先ほどの説明でも、二つのプロセスがあると思っていて、一つ目は、要求種別通りに設定するプロセスがあって、
0:14:41	そこで粗々のスクリーニングみたいなのをして、二つ目は、
0:14:47	基本的設計方針、結果、基本設計方針での要求事項の本質を読み解いて、
0:14:54	改めて設計広告に過不足がないかっていうところを設定するっていうプロセスがあると認識していますが、まずこの二段階やるっていうところは、
0:15:05	別々で抽出するのではなくて、両方のプロセスを踏んでやるというところで、理解してもいいですか。
0:15:14	はい。日本原燃清でございますまずおっしゃっていただいている通りだと思ってます。はい。
0:15:19	はい。創出した場合に、
0:15:22	一つ目の要求種別の方については、
0:15:27	言葉じりでほぼほぼ評価します、構造とするとか設置するとかっていうところでスクリーニングできると思うんですけども、あと後者のやり方っていうのが、
0:15:38	やはり少し作業者の力量によって整理結果に差が生じる部分っていうところは、
0:15:44	あるので、今回それを緊縮させ、均質化するために、
0:15:48	いろいろな事例を入れていると思っております。それで 3 ポツ 1 のポツの二つ目。
0:15:57	のところに、

0:15:58	これをそのまま展開角のみにするのではなくってところが記載されているんですけども、
0:16:07	今回の後ろの方に、抽出の事例っていうのが4ページ目以降に書いてあるものの、
0:16:14	どういうのみがあったから、こういう
0:16:18	整理をすることになったのかっていうのが、少しまいち見えてなくて、だから失敗事例みたいなのかっていうのもう、
0:16:26	何か、
0:16:28	はいでもいいのではないかっていう議論が、何かありましたか江戸で。
0:16:36	はい、米屋でございます。はい。
0:16:41	正直あんまり議論というか、悶々と作ってるところがあるので、そういったところまでは議論はしてませんが、以前ヒアリングでも、私発言してた記憶がありますが竜巻なんかで、
0:16:56	基本設計方針の記載がですね、
0:17:00	設計竜巻、設計荷重括弧竜巻に対して防護対象施設が脳構造共同を評価し、安全機能を損なわない設計とすると。
0:17:13	基本設計が方針があってこれは評価要求のフラグが確か別紙アイデア0資料別紙2は付けられていたと。ただこの基本設計方針をそのまま評価要求だからといって評価、
0:17:26	やっているのでは、間違いで、
0:17:29	これは基本設計方針の書き方の趣旨としては、構造強度を確保するという設計があった上で、それが妥当かどうかを評価で確認すると。
0:17:41	ということで、構造強度を確保するという構造設計を、のグラフと、評価のグラフというのを二つ立てる必要があると。
0:17:51	いうこと、マボもともとは、おっしゃっていた失敗事例というふうに綺麗になるのかどうかですけど、見た人間は、評価要求のクラブから評価という項目を立てて、
0:18:03	一旦は整理をしてたっていうところがありました。はい。はい。そういう意味だと、今評価フロー評価のフラグが立ったときに、他の配置なりシステムなり、
0:18:16	あとは結局は構造になると思うんですけども、そっちの方に展開するっていうのが、今回は、例としては、溢水ですかね。
0:18:27	はい。はい溢水を例に挙げさせていただきましたはい。これは
0:18:34	まだオンゴーイングで並行して進んでるので、その際に、結局は評価要求だから評価と言われても、その前提の情報っていうのを設計側で語らないと評価に結びつかないようにというところの、

0:18:48	抜け漏れが発生するようなポイントとして例示を挙げさせていただきました。
0:18:53	はい、わかりました。
0:18:58	とりあえず、前段では、私から以上です。
0:19:03	他に。
0:19:04	何かあれば、
0:19:06	規制庁上出です確認で今話をしてるところのそのて設計項目への展開っていうのも、ちょっとよくわからなくて今資料 2 とかを見ていて、
0:19:18	資料 2 の中のどのことをイメージして書いてますか。
0:19:27	はい、与儀と一緒にございます。
0:19:30	資料 2 でいきます。
0:19:34	資料 2 でいくと、
0:19:39	アノオクタテ第 2 回申請っていうふうに書いてあるところで、
0:19:44	設計説明分類カセンは代表であって、各基本設計方針の対象となる。
0:19:52	対処対象となる範囲、設計説明分類の設計項目は、この欄、
0:20:01	ここに、構造設計とか、評価とか、システム設計とか排設計とかっていうグラフを立てていくんでこの項目を、
0:20:12	基本設計方針を見て、抜けなく必要なものを展開しろというのが言っていることです。
0:20:19	数値をカミデです。わかりました。設計説明分類の設計項目って言うその設計項目っていう言葉を、
0:20:31	今の 3 ページのところですか。てか変えて設計項目だっていうことですか。
0:20:35	はい。ちょっとここは本文と、基本的には本文と資料 2 のタイトルがうまくマッチしないかもしれません。それで本文上はもうオオクマで、設計項目確保でとった。
0:20:49	タイトルで書いてます。それと展開を合わせたということがございました。はい。
0:20:55	はい。イセ直下ですわかりましたあと設計項目と構造設計とか評価とか冒頭宣言。幾らかあるから、幾らかもう決まり物があるから展開というよりは、
0:21:07	どうピックアップしていくかあとはこれとこれは構造と評価上こうだよねみたいなことがあって、その辺を選択していくということだとわかりました。
0:21:19	主要に見るとその隣で、今度設計項目の考え方って書いてあって、

0:21:25	ここに何か久野加茂作業者の人たちに1回できてるのかなっていう疑問に思ったんですけど、その辺はいかがですか。
0:21:36	はい。与儀ニシダでございますはい。ここも今おっしゃっていただいたように、
0:21:44	この設計項目のグラフを立てたのと、この一番左にある要求事項ですね、この関係を踏まえてここでどういう工夫が設計を語るのかと。
0:21:55	いうことの概略をここで語って欲しいということなんですが、
0:22:01	ある程度解説をして、しておかないと、
0:22:04	迷うことはあるかもしれません。あとはここは特に
0:22:08	資料3を作ってフィードバックをかけるという時に、ナラハタ岩瀬というわけじゃないですけど、中身が大体わかるような、概要を書いて欲しいという思いもありますんで、
0:22:20	そういった意味での解説も先ほど聞いたというところあんまり具体例が書いてないということでまたブラッシュアップが必要ですねという話をしましたが、そういう点も含めて、全体整理が必要かと思っております。はい。
0:22:37	規制庁神です。
0:22:40	まだこれから整理してなると結構つらいなとは思いつつ、
0:22:45	基本設計項目の考え方というタイプではありつつもう、そのセ選定した設計項目構造設計な構造設計評価なら評価ってということに対して、
0:22:58	どんな資料3なり4で、どんなことを説明していくかっていう、
0:23:05	頭出しが設計項目の考え方。はい、そうです。今、整理といったのはガイドでどう解説して、みんなに理解をしてもらうか、均一化を持たせるかというところが、
0:23:18	もうちょっと整理をしたいなと思ったところでここに何を書かかはおもうすでに決まっていることだと思っておりますけど、はい。
0:23:25	はい。規制庁上出です。その辺ガイドにするんだったら
0:23:31	ここはうまく、例えばグローブボックスのグローブボックスでここはうまくかけ合わせているからっていう例示を出して、ここにはこういうことを書いてねっていうのでいいんじゃないかなと思いますけど、それで、
0:23:43	あわせてその説明グループの考え方というのが隣に出てきて同じような言葉で、考え方と言いつつ、何か考え方っていうよりは何か説明方針みたいな感じ。あとは、
0:23:55	みたいなどころもあるってそのあたりが
0:23:59	言葉の言い方もそうなんですけど作業者の人が悩まないように、例示を含めて整理していただければいいんじゃないかなと思います。
0:24:13	はい。与儀西原でございますありがとうございます。はい。今そうですねおっしゃっていただいたように

0:24:18	表の中に書いてある項目だけでは何を言わなきゃ言わんとするかがわかりづらいところがあると思いますので、具体的な例で思って、ほぼ、
0:24:28	設計を伝えられるように、ガイドに反映していきたいと思います。
0:24:35	はい、規制庁五味です。あと、ついでに聞くと、昨日共通中にも出てきて、耐震のところとか私、
0:24:45	これ見てるんですけどやっぱりそれを見て、何をここ書くのかなっていうのでどういうルールになってるのかなっていうこわかんなくなって今聞いてるところもある。
0:24:55	だけど、まだこの説明資料で必要なレベルにはまだちょっと達してないなっていう感じでいいんですかね。
0:25:06	はい。与儀ニシダでございます。はい。まずう、特に資料 3D、具体の設計を、ある一定のレベルで書きかえている。
0:25:18	書き切れてるかという点での
0:25:22	まだブラッシュアップが必要だという点はあると思ってます特に耐震は歩これを設計ですと言われてこれを見て具体的な設計がわかるかという点とまだ、
0:25:32	書類にちょっと理由が入ったとかそういう、そういったレベルでしかないかなと思ってますので、またそういう意味では、設計としての記載のレベルを上げていく必要があるという状態だと思ってます。はい。
0:25:47	はい。規制庁深見ですその辺細かいところはまた金曜日にはコウとっているのもその時でも、円出した資料だけ説明するんであってこうしていきますみたいな話ができるかと思いますのでよろしくお願いします。
0:26:05	はい。宮城ニシダでございます承知いたしました。
0:26:10	はい、規制庁ねと、とりあえずというか頭のところで話をしたかったのは以上です。
0:26:17	木曾市野オオオカです。ちょっと今の要求種別のところで私からも確認したいんですが、
0:26:25	3、3 ページ目の下のところから冒頭制限で 2 となっていて、
0:26:30	共通順位本文の方では定義について何も触れてない状況で、4 ページ目の冒頭宣言と評価要求、
0:26:41	間のところにちょこっとだけ書いてあって、一方で、前回の竜巻なんかでは、高評価の温泉。
0:26:49	評価で使うような数字なんかも全部定義に、
0:26:51	入っていったりしていて、この定義っていう部分を、
0:26:55	どういうふうに整理してい
0:26:57	いくのが正解なのか、ちょっとお考えをうかがわせてください。

0:27:06	はい。宮城ニシダでございます。はい。このガイドにですね、定義というのを4ページに達したのは押しさせていたでいるような前回、
0:27:16	竜巻で議論があったところを受けて、これは定義というのも何なんなのかということをちゃんと定めておかないと、またぶれるなという気がして入れました。
0:27:32	はい。規制庁管です。入ったことを確認した上で今、この記載で、具体的にどういうふうに、
0:27:41	この資料、共通12の体系の中でどういうふうに使っていくものが定義に入ってくるのかということをちゃんと整理されましたかというコメントで、
0:27:51	衛藤。
0:27:53	要は共通12の会計の中でコウ評価等で、
0:27:57	評価結果の人なんか持って行くわけで、
0:28:00	そこの部分でどういうふうにこの定義に入ってきた数値なんかを展開していくのかというところをカバーします。
0:28:17	今のかぶった。
0:28:19	そう。
0:28:25	今音声って乱れてますかね、一瞬見られてましたが、今は大丈夫でした。
0:28:30	はい。はい。数値的なものも、自分で決まってるものは定義として割りつけてます。ただ前回の竜巻でも議論があった通り、
0:28:42	経費に割りつけること自体は、私それはそれで考え方かなと思っているんですが、ただその定義に割りつけたものがある種機能せ、機能要求だったり、
0:28:53	評価要求だったりっていうものに対しての条件になる場合は、この設計項目を展開するときには、そういった義務として与える数字の、
0:29:03	ね、前提としてる条件になってますよということそれぞれの項目でも付けていくということ、安全先はつまり定義ではなくて機能要求だったり評価要求だったり、
0:29:15	いうところに預けるということがちゃんと紐付けができることを、整理しないといけないかなと思ってました。
0:29:21	はい。規制庁管です。それで明日の資料なんて、DBの資料なんですけど竜巻が、水の方は、定義のところにもいろいろここで使いますみたいな、
0:29:32	とだけ書いてあって、要はこういうふうに、その定義としながらも、どこで設計条件になりますとかそういうことをちゃんと、
0:29:41	他の条文を明記していくと、そういう、
0:29:44	ことがされているということよろしいですか。

0:30:04	規制庁岡ですイシハラさん聞こえてますでしょうか。
0:30:07	それで今切れましたすいません。そうですか。
0:30:13	これね、ハウリングしてます。
0:30:30	2 番目でございます。
0:30:33	はい。
0:30:38	結城。
0:30:41	はい。
0:30:46	竜巻でもあったように、高まった実績に書いてもらったのはおっしゃる通り供給例の鳥羽タカオイメージして、
0:30:56	どこの所、野瀬使ってるかということでリンク着するというのを考えてました。はい。はい、辻岡です。わかりましたじゃ等が、今ちょっと書かれてないような気がしていますので、その作業
0:31:11	にも、
0:31:12	追加いただければという。
0:31:14	あと終礼の
0:31:17	イシハラさんがコウ。
0:31:18	1 人で悶々とそのガイドを作成されて、
0:31:22	いたところがちょ
0:31:27	皆さんで揉んだり、使ったりしてみた結果、こうなっていますっていう。
0:31:32	ことなんのかなと思ってたんですが、現状のフェーズってどうなって、
0:31:43	はい、乳井肥田でございます。正直まだ使ってみて、みんなで意見を言い合って、ここはこうした方がというレベルまで段階までできてません。
0:31:52	はい。今後それはやっていかなきゃいけないと思ってますはい。
0:31:57	はい、規制庁からです。そういうふうに見たらまた形が変わってくると思いますのでそこはかなり大事なところだと思いますので、
0:32:07	引き続き、そういう活動をよろしくお願いします。
0:32:13	はい、西田でございます。はい。実際作る人がわかり、理解できるかという視点も含めて、やはり
0:32:23	対応する方に見てもらって話をして、ここはもうちょっとわからないんで、
0:32:29	ここは解説を加えて欲しいとかですねそういった議論もあって、ブラッシュアップをしていくものだと思いますので、そういう点引き続き、対応なりを進めていきたいと思います。はい。
0:32:41	はい。規制庁岡です。
0:32:44	昨日出てきた。
0:32:49	グローボックス資料 1 から 3 の部分は、このガイドに基づいて作成されている。

0:32:56	こともないってということなんですか。今の、
0:32:59	寒気が、
0:33:01	麻生。
0:33:02	はい。日本原燃石田でございます。
0:33:06	まずベースからお伝えしますと、このガイドに書いたことは、私が、もう副作業してもらってる人に、
0:33:14	説明をしてこういうふうにし、したいとして欲しいと。なぜならこういうことだからということの話をした結果として、修正をしてもらっているものになるので、
0:33:26	概要を直接読まないというよりはそういった、同じ考え方で話をして、作り上げているものと認識をしていただければと思いますはい。
0:33:36	はい。社長は書かれている。
0:33:39	基本的にコウハン
0:33:42	まだちょっとしっかり入れ、
0:33:44	ですけど、このガイドを使ってやったのかなと思っていたので、それを文章化して今後、他の条文にも展開とか、次回の展開ってということでわかりました。
0:33:55	確かにそうです。
0:34:01	規制庁コサクです。先ほどのカミデとそのあとのオオオカからの話で、
0:34:09	私自身まだよくわかってないので、
0:34:14	改めてになっちゃうんですけど、
0:34:18	アノカミデからあった二つフェーズありますよねと。
0:34:22	ということで、
0:34:26	要求種別、
0:34:28	ということからまず対応するものを書いてみると、
0:34:32	ということ。
0:34:33	ていうのと、もう一つペースありますよっていうのは、まず冒頭に明確にされるってことでよかったんですけど。
0:34:43	はい。家田でございます。はい。今の 3.1 の
0:34:51	スタートですね。ここでまずそういう左右ステップだということがわかるように、明確にさせていただきたいと思ってました。はい。
0:35:00	はい。補足です。
0:35:01	ただですね。
0:35:03	そのときに、
0:35:04	先ほどの定義のところを見ると、
0:35:07	定義じゃなくしますっていうことを書いてるようにも見えて、

0:35:12	その第1フェーズより前に戻りましょうっていう、
0:35:17	フェーズもあるように見えるんですけどこれはどうなっています。
0:35:25	それも含めて野田委員。はい。
0:35:28	米原でございますはい。
0:35:35	そういう連携3ページのところ、定義と書いてあっても、それ以外にも、冒頭宣言の場合もですね、本当にそれでいいのかっていうところを見に行くということもして欲しいなという気もあって、そのフェーズを入れてます。
0:35:52	なので全体としてここでやることを、全体像をまず明らかにするということが、
0:35:59	必要なのかなと思ってました。はい。そういう意味ではステップをちゃんと明確にして、まずは割り付けるただそれで割りつけた後に見ていて、要求事項と合致してるのかと。
0:36:13	いう点で、整理をしてみる。
0:36:16	それで遊休施設がこれがまずいなと思えば直しに行く。
0:36:21	さらに、要求種別通り展開した最初のステップから、これだけで足りるのかということさらに、こういう設計項目が要るんじゃないかと、というようなことをあぶり出していくというステップかなという気はしてました。はい。
0:36:37	はい。補足ですわかりました。確かに冒頭宣言の方も、ちゃんと宣言であって、ぶら下がるものにおいて、100%受け切れているのかと。
0:36:50	いうチェックをするということもあって、それで漏れがあれば、変えていくということになるんでしょうけど、
0:36:58	これ、漏れがあった場合ってどうすることになったつけ、これも要求種別の修正っていう方向になる。
0:37:07	はい、弓削石田でございます。有給種別の元修正というのものが一つの作業かなと思ってました。
0:37:20	正直言うと、基本設計方針自体が冒頭制限を受けるだけのものが全部書き切れてないというのもちょっと大阪支店もあるのかもしれませんが、
0:37:32	どこまでやるかだと思ってました。はい。
0:37:36	はい。家族です。
0:37:41	バスケットクローズで最終、最初に帰ってしまっているっていう可能性もなくはないので、
0:37:47	そこは気をつけていただいてということだと思います。
0:37:53	一応、今の冒頭制限のところでは例えば4ページの一番最初の行で種別の修正っていうのが記載されてるので、ガイドとしては成り立っているのかなと思いますけど。

0:38:06	やはり作業者がこれをどういう意味ととらえるかによってその作業がどう いうふうになってくるのか、変わってくるので、コミュニケーションをとって いただければと。
0:38:18	それで、
0:38:20	その下にある表わあ、そういったところでちゃんと展開先を見ていきます よと。
0:38:27	ということが書いてあるんですけど。
0:38:30	先ほど上出が言ったシュベIIを踏まえた設計項目の設定があり、
0:38:36	考え方を書き出していくっていうのが資料2の話であって、
0:38:43	それについて、ここで何が書いてあるかっていうと、
0:38:48	冒頭宣言。
0:38:51	であれば、
0:38:53	振るだけっていうことなのでフジサキを明確にしますと、
0:38:57	いう、矢印の後段に書かれているようなことが書いてあればいいと。
0:39:06	ということで、資料2にいくと、
0:39:11	冒頭宣言の場合は考え方ってのは基本書かないっていうことなんですよ。
0:39:22	はい。乳井ニシダでございます。はい。資料2ではですね基本設計方 針に向けた、先ほど、
0:39:31	設計説明文とかいろんな項目のところはですね、基本設計方針ナンバ ーから何番とかナンバーから何番にかかる同等制限。
0:39:41	のためこれは特段協議会を記載をして、どちらかに飛ばすという意味 で、作ると思ってましたよと思ってました。はい。
0:39:53	はい。古作です。
0:39:55	あれば、ここで書かれた作業ができていけば、展開できるということなん だろうなと。
0:40:04	思いますので、ちょっと資料2を眺めても、ここでああなるほどっていう 場所もパツと見つからないので、ちょっとよくわかんないんですけど、
0:40:15	大丈夫なんだろうなということで理解しました。
0:40:18	で、
0:40:22	ここでここはポイントはカー枠の方の話であり、その行の右側の考慮す べき事項っていうのが考え方なり何なり、書くことを示していくと。
0:40:34	ということかなと思うんですけど。
0:40:38	この表の形で書いたからではあるんですけどその下の行に書いてあ る。はい。設計要求に対する
0:40:47	考慮すべき事項っていうことも目に入ってきちゃうんですけど、

0:40:52	これわあ、
0:40:55	設置要求だから、ここで書くことの的セットを書くべきかみたいなのは、
0:41:03	設置要求のところ、
0:41:07	あれでも設置場所がない。
0:41:11	はい、宮城リーダでございます。冒頭申し上げた協定連絡本部との役割分担なりをどうしようかなと思っていたところでありまして、
0:41:22	本当に本部の方には、それぞれの要求種別、
0:41:26	税状況であれば大体、入るのが配置設計だろうということも含めてそういった典型設計項目の展開をしてくださいねというのが書いてあるところで、それ、
0:41:38	もう不明踏まえて、同じようなことも含めて、ここに書いてあげるっていうのも一つの手かなと思いつつながらまだすいません、私もうまく整理できてなかった。はい。
0:41:50	補足です。設置要求についてこっちで書く必要があるのかなのかというのを、の話だということだ。
0:41:59	檀だとは理解をしましたが、
0:42:02	設置要求は配置設計で示せばいいものに本当になりますかね。
0:42:17	はい。弓削イシダでございます。はい。
0:42:20	基本、
0:42:23	そうですね。おっしゃっていただいたように、イメージとしては、
0:42:29	こういうものを設ける設計とするというのが大体設置オオキアノ。
0:42:35	積極なものをダイレクトに指定をしていると。ただ設定要求として、グラフを立てた設備自体に何らか、功労場だったり、系統上だったりの、
0:42:48	設計要求をかけるという場合は、設置要求に加えて、基本的には機能要求なりのフラグを要求すべきとして立てるとというのが、
0:42:59	もともとの現在の資料の別紙2でやっていたことだと思ってますので、ここ共通でも書くときに、なかなかうまく表現できてませんが、
0:43:10	断片である場合は、何々設備、何々の機器を設置する設計とすると、だけど基本設計をして書いてあるものは決定受けだけは多分クラタと。
0:43:22	こういう目的を持った例えば、設備を設置する設計と言われると、その設備自体に何らか要求が加わるので、そこは機能要求②と設置要求の組み合わせとか、
0:43:35	いうことでももともとは整理をしているんだというふうに理解をしながら、そこをどう表現するかと思ってます。はい。
0:43:43	古作です。今の話だと、

0:43:46	要求種別二つ、一文だけどう二つ種別を入れているっていう作業になってるんですか。
0:43:54	高。
0:43:55	はい。人間のイシダでございますそのときの資本設計方針の趣旨を考えて、特別に割り付けていけば、要求種別が二つ並ぶということも、
0:44:08	やっていると思ってます。そう記憶してますはい。
0:44:12	はい。補足です。資料に見ても、要求種別がいっぱい列記されてる行はあるので、
0:44:24	そういうふうやってるところがあるのは理解をします。
0:44:28	が、
0:44:29	してない場所もあるんじゃないのかという不安があつてそういうのを精査をするフェーズだというのであれば、
0:44:38	設置要求としてるものに対して本当に機能要求がないかと。
0:44:43	いうことについて資料3で説明すべきことを資料4で説明すべきことという観点から、
0:44:51	見直してみるという作業はあつていいんじゃないかと思うんですけどいかがでしょう。
0:44:57	はい、乳井西田でございます。はい。それはおっしゃる通りだと思いますそこがもともと等ですね書いた趣旨は、
0:45:08	3ページのそのまま展開しないでね単純にやらないでねっていうのは、おっしゃっていただいて趣旨の作業をしてくれというメッセージだと、いうことで、
0:45:19	書いたつもりですので、
0:45:23	はい。そういう意味で今、
0:45:25	3本と1機能二つ目の一つで、特に注意が必要なポイントとして三つのタームを挙げましたけど、
0:45:35	露木機能要件①②も含めて全体、表ですね、全体ここで何らか、注意事項なり、こういう点をちゃんと考えろと。
0:45:47	いうことを上げていくということかなと思います。はい。
0:45:52	はい。補足です。
0:45:54	よろしく申し上げます。
0:45:57	それって冒頭宣言定義、設置要求はよくて、
0:46:04	機能要求はどうなりますか。
0:46:11	はい、弓削莉愛でございます。機能要求は①と②にあります。①は、
0:46:21	着せ機器とかの一連の系統で、その機能を達成する場合、その有休事項に対しては昨日結城①、

0:46:30	機器単品で、技術基準の要求事項を満足するような具体的な仕様を決めるものは決めているものは、牧野駅 02 ということで展開をしています。
0:46:40	これは、木野駅 01 の場合は既京都 12 の本体では、システム設計として割り付ける木野駅前には構造設計で基本的に割りつけるとしています。
0:46:52	ただここも教育委員の方では先ほどあったように、井戸池①②といっても 1 個で必ずが終わるわけではない場合が多いので、
0:47:03	機能要件マル 2 例えば②等評価要求額組み合わせる場合は構造設計と評価等、二つラグを立てるとかつ、それぞれの関係性を明確にすると、どこ、どっちでどういう設計を説明して、
0:47:17	評価は、設計を受けてどういう評価をするのかというのを、明確にしなさいというのが、共通的に本体に書いていることです。はい。
0:47:27	古作です。今日通常に本体の書いてあるページ数ちょっと今教えていただけますか。はい。入園者でございます。27 ページから 28 ページにかけてが、
0:47:39	この表が入ってますので、ここで、それぞれの要求種別ごとに展開をする中、考え方みて書いてました。28 ページ具体的には 28 ページに、
0:47:50	先ほど単純に設置要求をイコール配置設計とします。そういったことが債権ということです。
0:47:58	コサクですを終わりますし、
0:48:03	ただ、それで言うと 27 ページで冒頭宣言のところは種別変更のことも書いてあって、
0:48:14	この点では理解変わってって、
0:48:18	設置要求の方は配置設計としてとしかなくてないので、そうでないものはちゃんと種別から見直さなきゃいけないんですよというのが、
0:48:32	自明なのかもしれませんが、ちゃんと整理をしなければいけないこと。
0:48:37	ということで、次の機能要求①ワー、今言っていたいただいたそのシステム設計でということですけど、システム設計だけで済むのかってところが、
0:48:49	ぶら下がって機能要求にがあったり何々すればいいんですけど、そうじゃない場合は
0:48:55	構造設計もセットにならないといけないし、評価も入って苦しいと。
0:49:00	ということだと。
0:49:02	思うので、
0:49:04	そこはどんな感じなんですか。
0:49:10	はい、日本イシダでございます。はい。
0:49:14	おっしゃっていただいている通りだと思ってですね木野駅 0102 が並ぶ場合もありますし評価要求もセットになるパターン。

0:49:25	という、特に機能要求 0 ニワ評価要求とセットのパターンが多いと思ってます。
0:49:31	プラス
0:49:35	設置要求と機能要求①がセットになることはあんまりないですね。はい。ただ
0:49:41	おっしゃっていただいたように以前前回の審査会合でご指摘あった、
0:49:48	MOXの換気設備の系統設計でコウ機能要求①で、そういう構成にしますよという機能要求、基本設計方針等で機能要求①を立てて、システム設計にフラグを立てて展開をしています。
0:50:03	ただ今回、昨日ですかねお出しをした共通 2 では審査会合でのやりとりを踏まえて、中でも議論をしまして、
0:50:14	とはいえ、システム設計を考える上で、
0:50:17	配置のことも気にしないといけないものもその系統の中についている機器ではあるよねと。
0:50:23	例えばですけどグローボックスの、直近へのグループ背景につけてフィルターっていうのが、
0:50:30	なるべく工程室内ないいろんな放射性物質の、ある程度の取り扱いを限定したいというのもあって、はい。
0:50:40	フィルターだとか吸気データをグローボックス近傍につけると、高低差の中に配置をすると、いうことが、系統設計上の考慮事項としてあるとすると、
0:50:52	単純にシステム設計だけでは片づかなくて配置設計とコラボだという場合が出てくるということ、これも、
0:51:00	正直ですねこれ資料 2 で展開してますけど資料 3 までいかないと出てこないっていうパターンもあるので、そこも含めてどうガイドで書かな。やってもらう人にどうわかってもらうかなんてところは、
0:51:10	考えなきゃいけないところかなと思ってました。はい。
0:51:14	はい。それが、このガイドのポイントだと思ってて、
0:51:20	結局資料 1 と 2 の関係だって 2 をやってからじゃないと一井がセットできないっていうことと一緒になので、3D、配慮すること。
0:51:30	を踏まえて資料 2 ではこういうふうにやりましょうねと。
0:51:33	こういうことに注意しましょうね、こう書きましょうねというのがあっていいわけで、場合によっては配置設計も、具体的にはこんなことがありますよと。
0:51:44	いうことが、
0:51:47	ガイドで書かれればいいんだろうなと思います。その上積みとして、共通中に本体で、先ほどの種別変更のようにですね、

0:51:57	枠としては書いてあって、その具体をガイドで示すという形にしていただければいいんじゃないかと思う。
0:52:06	はい、日本弊社でございます。浅井。ありがとうございます。はいそういう視点で供給ルートガイドの赤いてる各ポイントですね、整理をしていきたいと思いますはい。
0:52:20	はい。補足です。で、その次の機能要求②は評価との関連ってということが触れられて、
0:52:29	いるので、それに対応されるんだろうなと。同じくこれも配置設計なりと、
0:52:36	の関係も出てくるものがあるでしょうから、その点は、
0:52:40	実情を見ながら、整理をしていただければと思います。
0:52:47	はい。ヤギニシダでございます。はい。先ほどのヨコヤマ1の中にちょっと具体的な例示も含めて展開できればさらにガイドとしての機能か、
0:52:57	上がるかなと思いますのでレジメ見て考えたいと思います。はい。
0:53:02	はい。高速です。その次が評価要求ということになって、これはガイドの4ページの下側から、具体例が挙げられているというところですけど。
0:53:18	ここが一、結局
0:53:23	先ほどもその考え方ってところに書くものとの関係で、
0:53:28	何が書いてあるんだろうっていうのがちょっとよくわからなかった。
0:53:33	たんですけど、
0:53:35	どういうふうに理解をしていけばいいんでしょうか。
0:53:45	はい。弓削ニシダでございます。はい。そういう意味では、そうですね
0:53:51	資料2の(4)、先ほど言った設計項目の考え方だった猪岡古藤とのバンキング含めて、
0:53:59	ページが必要かと思えます現状きよ、
0:54:04	大きく二つあって、評価要求というフラグを
0:54:10	食っている以上は評価という設計項目を立てて、かつ、そのコラボなる設計との関係でどういうことを評価するんだということを具体的に展開をなさいという視点と、
0:54:25	これが設計項目の考え方で書くべきことにどうフィードバックするかという点とですねあと一斉で書いてるのは、先ほどの評価要求というフラグしか立ってないものに対して、
0:54:39	評価という設計項目だけではなくてその評価をするにあるの前提になるような情報も含めて、構造設計なり配置設計なり、
0:54:49	必要な設計項目をしっかりと抜き出さないと。
0:54:54	いうことを例示を持って説明をしたかったというのが趣旨です。ただ趣旨が、

0:55:00	多分だから書いてあるところもあって伝わらないところは整理をしていく必要があると思ってます。はい。
0:55:07	はい。コサクです。ここが本当によくわかんなくてですね、まだ評価の資料 4 の話をしてないからなんだろうなとは思ってますけど。
0:55:20	共通 12 の資料 2 を見るとですね。
0:55:26	評価っていう設計項目には、括弧書きが入ってて、やたら長く書いてるのが多いんですよ。
0:55:36	これは、このうさ方はどこから出てくるんですか。
0:55:47	はい。宮城ニシダでございますまずそうですね評価のところ、
0:55:58	これはですね、どこだっけな。
0:56:02	先ほどあった。
0:56:04	共通資料本体の 28 ページ評価要件のところの二つ、右側の欄の二つ目のポツですね構造設計等と組み合わせた場合に、
0:56:15	ちょっとそれぞれの関係性を明確にせよというだけです。今の明示しているのは、
0:56:21	それを上に書いてる構造設計なり等を受けて評価って一体何をするんだっていうのを、端的に書けというのが、目的なんですけど。
0:56:32	文章能力というんですかね、各負担的にというと上をタグチも付けて、上で言ってるこの項目の評価をしますと、
0:56:43	いうことを書いてるに今、
0:56:46	して欲しいかなと思いますんで、ここも、何を書くんだって先ほど上出さんからあったここに書くことは何ですか、とにかくにはどういう趣旨で書けばいいんですかってところをガイドの中で、
0:56:58	展開をする。
0:57:01	かなと思ってましたはい。
0:57:03	はい。コサクです。共通 12 の資料 2 の書いてあるところ見ると評価条件なのか何なのかというこ等で書かれていてですね。
0:57:14	ちょっと類型までしてないんですけど、
0:57:17	それで言うとう前回資料 4 の話で議論したようなポイントがわかるようにしたいなど。
0:57:23	いうことだったんだろうと思うんです。だとする等、このガイドのところでそういう類型を示すっていうことが必要なんだと思う。
0:57:34	ていて、
0:57:38	評価条件として、構造設計上の配慮があるということであればそれを受けて

0:57:47	その妥当性の評価をしますということだったり、それを基にした判断基準と、
0:57:56	判断基準。
0:57:58	はい。判断基準と比較する、評価値を出していく、評価。
0:58:03	の部分ですなのか。
0:58:05	幾つかの評価の趣旨があるので、その種別ぐらいを出して、
0:58:10	行かれると。
0:58:12	ということでそれー。
0:58:16	の前提なりアウトプットとしての構造、資料 3。
0:58:21	の対応箇所を明確にすること、という視点が必要なんだと思うので、
0:58:29	まずは、
0:58:32	4 ページの下から、評価要求となっているところは、
0:58:37	そういった子、
0:58:40	等を明示していただいて、その下四角は紙で書いてあるのは単純に、
0:58:47	その例示として条文並べ立てるのではなくて、
0:58:51	その類型ごとに、こういう類型のものはこういうふうなことを考えながらこういう対応してくださいと。
0:58:58	まとめていただかないと、
0:59:02	全体としてはクローズしていかないんじゃないかなと思います
0:59:09	ます。はい、宮城吉田でございます。はい、ありがとうございます。はい。ちょっと資料 4 の議論というのも関係性も含めて、
0:59:18	累計の視点を入れて、この中でどういうことをやって欲しいかということを整理していきたいと思いますはい。
0:59:29	はい。補足です。そうすると、ちょっと脱線しますが資料 4。
0:59:34	項目なり何なりっていうのは早く議論しないといけない。
0:59:40	ことになるんですけど、
0:59:44	とスケジュールでいうと、
0:59:48	今週資料提示が、
0:59:53	るんでしたかね。
0:59:59	木曜日の資料提示で、金曜日の
1:00:03	あれ、はい。
1:00:06	すいません相川下説明型日案を、
1:00:09	ゲーム。
1:00:11	乱暴に活用させていただいてますけどはい。
1:00:16	それで

1:00:18	それー。
1:00:19	で、今日のヒアリングの反映っていうのは、6日の月曜日出すことと違うなまだ入れてないんだ甲斐とか早田はい。今日の反映したのものも、
1:00:33	そうですね。
1:00:35	3日。
1:00:36	共通事業を出すときに合わせて出すか、その前に出すかちょっと考えますはい。
1:00:42	えっとですね。
1:00:43	さすがにもう前に出さないと。
1:00:46	クローズしていかないと思うので、
1:00:49	さすがに26食うの提出の27、
1:00:55	とセットでっていうのは、ちょっと作業が増えるだけなので、
1:01:01	2627をやった結果を踏まえて
1:01:07	反映していくという、
1:01:10	作業として、翌週の早めのところで提示いただいて、
1:01:17	確認をし、
1:01:20	それに、その場で変更点なんかも反映して、
1:01:26	翌週に、
1:01:29	共通中に本体を、
1:01:31	出していくと。
1:01:34	ちょうど6日っていうのが資料4関係の反映っていうふうにもなっているので、
1:01:40	フェーズとしては、
1:01:41	それで刻んでいただいた方がいいの。
1:01:44	ちょっといいのかなと思いますけど。
1:01:49	はい、弓削西田でございますはい。
1:01:52	今言っていたスケジュール感ではいい。今度は進めます。はい。
1:01:57	はい。
1:02:02	はい。
1:02:05	古作です。資料4の話自体ワー、金曜日ということでもいいですけど、関連してその前の
1:02:16	明日ですかね、竜巻溢水のところでも評価の話は、
1:02:21	個別の話として出てくると思うので、その場でも議論をしてそれ、そのことも踏まえながら金曜日最終的にこうしましょうと。
1:02:30	というようなことが話ができればと思いますのでよろしくお願いします。
1:02:36	はい、弓削西浦でございますはい、承知いたしました。

1:02:43	規制庁コサクです。せっかくなので、もう一つ、運用要求があって、
1:02:51	運用要求についてワーアノ関連として構造っていうのがありえますよと。
1:02:59	ということワーアノ。
1:03:02	上のレ点でも書かれていますし、中の文章、表の中でも書かれている、システム設計についても少し展開がっていうのがありますけど、
1:03:13	これは1設計もありますよ。
1:03:18	はい、ヤギニシダでございますはい。ちょっと例示をどこまで出すかっていうところで殊中途半端ですけど配置設計もあります。はい。
1:03:28	はい。なので
1:03:30	関係するものは、少なくとも文章の方に構造設計等で丸めるんじゃなくて、関係あり得るものは列記しておいて、
1:03:40	それって何が関係するんだらうっていうのをイメージをしていけるようにしといてもらえますか。
1:03:48	はい。宮城ニシダでございます。はい。最初の利点とかですね。はい。丸めなくて、どういったものが候補として挙げ得るかというのをちゃんと出して、考える方に、
1:04:00	道をさせ、出すようにします。はい。
1:04:06	はい。お願いします。
1:04:13	ここまで、
1:04:23	えっとコサクです。一通り資料2関係って言えばいいのかな。
1:04:29	は
1:04:34	話をできたかと思えますけど、
1:04:39	ほかに。
1:04:42	現時点です。
1:04:43	話をしたい方っていらっしゃいます。
1:04:49	あ、規制庁のアライですけど。
1:04:52	ちょっと大川さんからのコメントと、からのコメントと少し、
1:04:58	かぶるっていうか、扱いがどうだったのかっていうのを知りたいんですけど。
1:05:02	応答宣言と定義っていうのがあって、定義については、共通12の本文でどういう位置付けで表すっていうことにしたんですけど。
1:05:13	いかがですか。はい、日本イシダでございます。はい。2728床に定義も、田島深井出した上で、先ほどの基本的な考え方を受け、
1:05:25	経営本部にも展開をし、作業すると機能細かい注意事項みたいなのも、外部をガイド側で展開をするということで整理をしたいと思います。はい。

1:05:35	わかりました。
1:05:37	以上です。
1:05:44	成長オカです。ちょっと、先ほど、運用要求のところでもコサクNoとのやりとりの中で、構造設計等の必要な設計項目を設定することと、
1:05:55	いうその頭で丸めないようにっていうようなのがあってちょっと、
1:05:59	前回も話して少し気になっていたところだったんですが、例えばですね、5 ページ目の、
1:06:06	問水の 6.31 水源及び水量の設定のところの、
1:06:11	設計項目への展開において考慮すべき事項の
1:06:17	矢羽根があって、1 ポツ目で、
1:06:20	構造設計で配慮することで、寸法等の設計とあって、
1:06:25	こういうのが少し、ちょっと、
1:06:29	メッシュ間を曖昧にしてるんじゃないかなと。
1:06:33	思っているんですが、
1:06:35	こういうところって、全部が全部とは言わないまでも、構造設計の範囲としてどこまで、ここで示しますっていうのを少し明確に、
1:06:44	した方がガイド的にはいいんじゃないかなと思っていたんですが、その辺の認識っていかない。
1:06:51	はい、二本木瀬谷でございます。まずですねちょっと冒頭申し上げた、その通りだと思ってまして。
1:07:00	多分バラ、今後もいろんなものが出てくるとばらつく可能性がある。大きくあるのが、システム設計って何を説明するのシステム設計と思ってますか。
1:07:13	行動設計って何を説明するのは構造設計だと思ってますかっていう、それぞれの設計項目に対して、どういうものをこのものに割りつけるかっていうところを、
1:07:24	なるべくタカギ等をなくして、上げるだけ項目を挙げて、迷わないようにっていうことが必要なのかなあとも思っていました。その点をガイド上は、まずは、
1:07:40	3.1 のところの、このいろんな評価要求とかの展開に入る前に、設計項目に割り付けると言ってる時の、それぞれの設計項目って一体何を説明する人なんですかねっていうところの、
1:07:53	解説を出そうかなと思ってたところでしたはい。
1:07:58	はい。成長がそこでカバーされるということで、要は作業者が、

1:08:03	今おっしゃったように構造設計ところまでシステム設計どこまでがやっぱり気になるところですので、そういう曖昧さをなくすような、配慮っていうのを少し検討いただければと思います。
1:08:15	以上です。
1:08:21	はい。表現ニシダでございます。承知いたしました。
1:08:25	古作です。今の点で言う等配管の寸法っていうのは想定破損の対象の選定でのインプットになるかなと。
1:08:37	ということなので、そういった関係性をまずちゃんと書くと。
1:08:42	ということだと思います。
1:08:50	水であればその表カーが主になっているので、さかのぼってそういう話をして受け側の資料3が、資料4の評価においてこういうことがあるので、それについての配慮でこういうことをやっていますと。
1:09:06	いう書き方になるんだろうなと思う。
1:09:09	て言って、
1:09:10	その次の数、破損箇所は、
1:09:14	配置設計でいいんですけど、
1:09:17	表現がまたちょっと違うんじゃないかなと。
1:09:21	思うんですね。
1:09:22	どちらかと言うとう配置設計種のような表現になるような気がしていて、
1:09:27	溢水、
1:09:29	防護対象設備がここの位置にあるから、その1水源になる範囲。
1:09:36	を見ていって、その範囲に水源、
1:09:40	皆がならないような、設計をしていく。
1:09:45	という、
1:09:46	思想になるはずなので、単純に評価条件云々っていうわけじゃない。
1:09:53	ですよね。最終的には、そのエリアについての評価をしていきますっていうことでの条件っていうのかもしれないんですけど。
1:10:02	単純じゃないので、そこら辺の表現をしっかりと整理をしてまとめていただく必要があるだろう。
1:10:09	思う。
1:10:10	てます。
1:10:12	Dというのもそれ、それによって、耐震設計だったり、構造設計だったりっていうのに繋がっていく部分なので、
1:10:22	そ、その全体像を認識した上で、どこでどの程度表現していけばいいかと。

1:10:29	どういう言葉遣いをしていたらいいかっていうことをまとめていただきたいというのが、ポイントだと思ってます明日具体的にしたいと思いますけど、認識いただければ、
1:10:41	はい。宮城の石田でございますはい。ありがとうございます。おっしゃっていただいている通りですね設計として、立てておかなきゃいけないものをと、評価の条件、前提になるかなと。
1:10:54	いうものはしっかりと仕分けをしていかないと、出てくる情報にまた違いが出てくるということにもなりかねないので、そういった整理ができるように、
1:11:05	明日の議論もそうですし、概要で、注意事項書くときにも、そういった視点が要るんだよということをしっかりと植えつけられるようにということで考えていきたいと思います。はい。
1:11:23	規制庁、カミデです。進行的に話をしますけど、とりあえず 3 ポツ 1 の資料に関係は大体話ができたのかなと思いますけど他、
1:11:34	規制庁側、あとは原燃側から少しみたいな話がありますか。
1:11:43	特になければ、3 ポツのところ、3 ポツにもそれなりに分譲がありますけど、まずあれですかね 7 ページ。
1:11:55	8 ページの途中までが、
1:11:59	前段のところかなと思いますので、この辺りで確認がある方がイデコウお願いします。
1:12:10	規制庁の荒井です。
1:12:13	この資料 3 で展開するにあたって、少し口頭で最初の冒頭の説明李イシハラさんからもあった通り、
1:12:23	資料 2 っていうのは、基本設計方針から展開する。
1:12:29	ものなので、原子力安全に対する要求しかないってところがあり、説明は、整理の仕方としてはそこに焦点当ててシンプルだったんですけど、
1:12:41	この 3 ポツ 2 のところから、生産系の話がどうしても入ってきてる。
1:12:48	気がしてですね、生産系の要求事項を、
1:12:53	どこでコラボさせるかっていうのは、
1:12:57	それを漏れがなく抽出するために、どういうふうに工夫してるかっていうのを、説明してください。
1:13:10	はい。与儀西尾でございます。はい。
1:13:15	今おっしゃっていただいたのある設計で資料 2 をの方は、ベースに展開をしていく、資料 3 の具体の設計、動くときに、

1:13:26	この安全設計上の考慮としてこういう設計にしたときの前提さらに上流側の前提に、生産系の設計がある、生産系というか、生産工程上の要求事項があって、設備の構成だったり設備を、
1:13:43	系統構成なりが、こういう設計になってますというものを、ちゃんと整理をして、紐づけをして抜き出さないといけないということだと思ってますそこを、今は、
1:14:01	どこだ。
1:14:02	共通 10 日、3.2 の五つ目のポツですかね具体的な分解をするときのステップの中で、考慮事項として全体的な要求事項の把握と、
1:14:15	いうときに、安全設計の話だけではなくて生産上の改良事項だったりっていうのは家の系統設計からか、機器または系統全体の目的要求機能の把握と、
1:14:29	いうときに、なぜ安全設計上こういう系統構成にしたのか、機器の構成にというのか、その条例に他の要求があってこうなっているんだよと。
1:14:40	いうことがあるんであればそういうのを抜けなく、持ってきてその関連性を示しなさい。
1:14:45	いうなことを、このガイド上は整理をしたところでございます。ただこれ、MOXのAを一つとって、ここで展開してますけど、さらに上流の全体的な要求の把握と、
1:15:00	いうところでもう当然こういうのはあるのかなあというのも考えていてそこをちょっと抜けなく、紐づけてもらうためにどうしたらいいのかと。
1:15:11	いうことを考えていたに考えて、これを整理していかなきゃいけないなと思ってるところでございました。はい。
1:15:20	規制庁の荒井です。まさに今説明あった通りのこととして、例えば 8 ページ目、グローブボックスの例を見ていただくと、
1:15:31	生産系の要求っていうのが出てくるのがステップ。
1:15:35	一井。
1:15:37	では出てこないんですよねまだ、それでステップ 2 の中で突然出てくるっていう話で、これに気づくか築けないかっていうところで、非常に大きな差が出てくるのではないのかなと。
1:15:50	思っていたので、もっと上流で抑えられるポイントをつくれるのは、であれば、そこに作っていただいた方が、抜け漏れっていうのはないのかなとは思っています。なので 7 ページの、
1:16:05	丸のポツの 5 の、
1:16:08	その下のすぐ矢羽根の全体的な要求事項の把握っていうところの、その全体的なっていうところで、生産系とかも入ってるのかな、あとはIIIA S関係のPPSGのやつも入ってくるのかなあとかっていうのは、

1:16:22	出てくると思いますのでそこは、
1:16:26	作業者が、
1:16:27	こういうところに目が届くような書き方で、ガイドは作成していただければと思います。
1:16:34	以上です。
1:16:38	はい。ヤギの石田でございますはい。ありがとうございます。出した後に修正をどうしようかってブラッシュアップを考えているのもあれですけど、
1:16:50	そこが正しく後で読み返してみて、機器または系統全体の目的要求機能の把握の前にある全体的な要求事項の把握のところのポイントでも、
1:17:03	押さえなきゃいけない点があるんじゃないかと。
1:17:05	いうことをもって、ここの段階で安全設計から悠久事項以外のものもちゃんとピックアップをしていくということが、必要だということを書こうかなと思いつながら、
1:17:18	またここばかりと書いてしまうと何もやらずにすぐされてしまうのも困るので、継続ポイントにするということと、どういうことを考えなきゃいけないかっていうところを、
1:17:29	具体的に示していくと、いうことが必要かというふうに思っていたところでした。はい。
1:17:38	規制庁コサクです。
1:17:42	清さん。
1:17:44	城野。
1:17:45	ここだと加工工程上って言ってますけど、要求事項って、事業としての子、
1:17:51	根幹に関わるので、
1:17:53	安全のPMSじゃないですけど、生産、営業のQMSで、
1:17:59	大事な
1:18:00	要求事項で、それを遵守するのは、
1:18:04	至上命題だと思いますから、
1:18:07	項目出しをされれば明快なんだろうと思います。
1:18:11	先ほどの
1:18:13	アライから言った、PPSGについて意識が低いという原燃の特質をしっかりと書くことで意識をさせるということも大事なんだろうなと。
1:18:25	いうふうに、
1:18:26	ます。
1:18:27	それで、
1:18:29	ここで書いてあるのは、視点として、

1:18:34	検討プロセスとしてっていうふうには書いてあるんですけど、
1:18:38	資料3としてはどう表されていくんですかね。
1:18:46	はい。乳井ニシダでございますか。結局のところ資料3ではあんま
1:18:55	審査会合で資料3の②とってですねことの要求事項、統計布施設備の設計との
1:19:06	関係を示す時に出てくるのとあとは、
1:19:10	ごめんなさい。そこで出てくるのわかってるんですけど、②濃度この部分にどう表していくか。
1:19:18	ていうのをパターン決めとかなないと、また記載漏れを起こすぞっていうことなんですけど。
1:19:24	案内だけは①だったり資料になって、上流から整理されるんですけど、ここからぽつんと出てくるので、どこでどう出していくんですかっていうのを整理して、
1:19:36	わかりました日本イシダでございます承知いたしました。はい。
1:19:42	おそらくスペース、最初の設備全体だったり、機器限界だったりっていう最初のページの一番上の枠のところ、
1:19:56	関係だったらそういうところに書いてありましたので、全体的に安全の要求と清さんの有給何とかと並べられるんじゃないかなと思うんですけど。
1:20:06	わかるようにしてください。
1:20:09	はい、宮城西田でございます。はい、承知いたしました。
1:20:18	成長化ですとか、関連してなんですけど先ほどからその生産系とPPSGの話がされてますけど、他、配慮しなきゃいけないこととか、何か。
1:20:30	もう自分たちで考えているものって、今のところありますでしょうか。
1:20:41	はい。ヤギの瀬谷でございます。現状特段ございません。ただ、
1:20:52	他の高齢上の要求みたいなものは、はい。
1:20:56	もともと、基本設計方針で拾ってねえか。
1:21:04	拾ってね、関係法令、中見とかなないと駄目なんで、
1:21:10	一応設工認上はですね、基本設計方針なのか工事の方法なのかどうかでは拾ってはいるんですよ。ケースも中も含めてですね。はい。拾ってはいるんですけど、言われるように明示的に扱ってないことが多いので、
1:21:25	あわせて対応いただいたらいいと思い
1:21:28	労働あい含め、
1:21:30	はい、乳井瀬谷でございます。そこはおっしゃる通りで
1:21:35	ちょっと議論になった

1:21:40	今後、資料 3 で設計を示す時に、この要求はこの条文要求で達成をするって要求がきてるもんですかって言った時にいやいやそれは、例えば建築基準法で決まってる要求に基づいてできたものが、
1:21:54	そのまま適用できるんですみたいなことも含めて、資料 3 のところで具体的にいきなりポンと途中で出てくるっていうパターンになりかねないのでそういったことを明示的に頭のほうで共通的な
1:22:07	要求事項として、いわゆる、ここで言う伊吹法に基づく体系での要求だけではなく、他にこういう要求も踏まえて、設計するのは展開されてるんですよっていうのがわかるように整理をしていくと。
1:22:22	いうことが必要かと思えます具体を展開した上でもう 1 回頭に戻って共通として展開を変えていくというやり方も当然あると思うので、そういうことも含めて、ガイド上は整理をしていきたいと思えます。はい。
1:22:37	はい。説明はわかりました。で、それは資料 3 からやるんじゃないかって今おっしゃった通り、資料 2 なんかに、
1:22:45	フィードバックするようなことな、
1:22:47	枠を設けないといけないでしょうかね。
1:22:51	二宮でございます。基本まだ今私の頭の整理しますけど、資料 3-02 から 0-2 展開をするというところまでかな、資料 2 までいくと、さらに、
1:23:05	何、高角かよくわかんなくなりそうな気もするので、そこはもう一度整理をしますどこまでさかのぼって黄色かけて整理をしていくと、全体がちゃんと見えてくるのか、抜けがなく
1:23:18	展開できるような形になるのかというのは整理をさせていただきたいと思えます。はい。
1:23:23	はい。規制庁、
1:23:25	それから、もう
1:23:28	そうですね、資料 3 の⑫と①の間でしっかりこう、
1:23:33	コントロールできる話のような気もしますので、また、整理のほどよろしくお願いします。
1:23:40	あとコサクです。
1:23:43	整理をすればいいことさかのぼっていく中で、この程度ここで入れようかっていう話をされればいいのかと思うんですけど、先ほどのPPSイイダとすると、案 2 呉の条文の中で紐付けを基本設計方針にしてたはずで、
1:23:57	何らか書かなきゃいけないってことだと思えますよ。その議論がまだできてないってことかなと思うので、とりあえず資料 3 で必要事項というのをしっかりと、
1:24:08	上げていただくということがありつつ、資料 2 の方への反映というのものもあるんだろうなと。

1:24:15	思っていて、先ほどの関係法令もですね、
1:24:20	どこでどういうふうに施工に扱ったっけということを振り返りながら、どう、上流に、
1:24:29	さかのぼって必要があるかどうか、さかのぼる必要があるんだっただの程度にしようかと。
1:24:34	いう議論がまた出てくるんだろうなと思いますので確認をお願いします。
1:24:42	はい、八木沢でございますはい、ありがとうございます。おっしゃっていただいている通りAPS条件についてはいうのを、基本設計方針で双方合意を考慮してという書いてあるところで紐付けが出来ますし、
1:24:56	そういったところも含めて全体整理をしていきたいと思えますはい。
1:25:04	古作です。で、先ほども少し触れましたけど7ページ8ページに書いてあるのって概念的にこういうことやりまやりますよねと言っているだけ具体が示されていない。
1:25:17	で、具体になるとそのあと展開例ということで示されるんですけど、
1:25:21	先ほどの3ポツ一井で話をしたような、こういう視点でこういうふうやっていきましようねということまで消化されてないような感じがしていて、
1:25:35	その点をどうしていきましようかということなんですけど。
1:25:42	特に
1:25:46	先日の会合でもう、システム設計でと言いながらいやいや配置設計もつてというような話を、
1:25:53	してたりしたことを踏まえると、共通中に本体の方で、システム設計とは系統設計、
1:26:04	の説明ですか。
1:26:05	構造設計っていうのは、機器等の構造に係る設計の説明です。
1:26:12	というような言葉だけではですね。
1:26:14	説明しきれない部分があつて運用がばらつくというか、
1:26:20	安定し、
1:26:22	ここでこういうふうに説明し切れるよねっていう。
1:26:27	統一感のある説明の仕方に。
1:26:29	なっていないのかなあと思うんですけど。
1:26:33	そのあと有井をここで具体にはできないですかね。
1:26:42	はい。はい先ほどの3.1の議論でもお話をさせていただきましたその部分がまさしくばらつく。
1:26:53	それが大分あると思つてましてそれぞれの戦略の2の段階で多分

1:27:03	経営項目はこういったことを言うんで、ある程度具体例をもってもう説明、さらにそれを対象物を決めてこれのときには、行動設計っていうのは、
1:27:14	こういうことを言うんだよ、系统设计ってのはこういうことを言うんだよってそれと配置設計とのコラボっていうのはこういう役割分担だよっていうのを、具体的な例示を持って3.2の方は、
1:27:25	展開をすると、いうことかなあと感じておりましたちょっと資料、暫定予算って言えばあけるということないかもしれませんが今思ったのは、そういう整理をできればなと思ってました。はい。
1:27:39	はい。補足です3.1の方は関係するところをピックアップする関連性を、
1:27:46	うん。
1:27:48	認識するっていうところまでで、3ポツ2の資料3例、ガイドとしては、その関連があるものに対して、片方ではどういうことを書いていくのか。
1:28:01	関連性としてどうつなげていくのか、それをどうし、示していくのかっていうことの具体を示していく。
1:28:08	ポイントなんだと思うんですね。なので
1:28:14	3ポツ1で書いたやつをより詳細化するというか、具体の具体にしていく方法を示すということだと思うので、対応、先ほども少し口頭でこういうところを示していくんだらうということをお話しましたが、
1:28:31	ここで、各パターンですね、システム設計から構造設計だったり、構造設計から評価だったり配置だったり、
1:28:40	いうところを各繋がりがあがると思いますので、そのときの配慮の仕方と、
1:28:45	いうことについて上げていってもらえればと思います。
1:28:52	はい、宮城西田でございます。はい。承知いたしました。
1:29:01	規制庁管です。他、今進め、具体の展開電話で済んだので、大体10ページ目の(2)の手前ぐらいまで、
1:29:13	話がある方はお願いします。
1:29:20	あと、規制庁上津なければというか私も基本的にはこれどう展開するんですか、どこに表されるんですかって話を、聞こうと思ってたんですけど今までの話に含まれてますので、その辺が明確にされればと思います。
1:29:36	その他でいうと、
1:29:39	あとは10ページ目の(2)から、その注意事項という形
1:29:48	関係のシステム設計、機械装置、
1:29:53	構造設計を例にとってあるんですけど、まず、なぜこれらが抽出、ピックアップされているのか、これらが何かの代表なのであればどの範囲を代

	表しているもどうなのかとか、その辺の考え方をまず説明いただけますか。
1:30:12	はい、西浦でございます。定例会、(2)は、といっても、どんどん
1:30:27	ものが出てくれば増えていくものだと思っているので先ほど本部のちゃんとガイドとしての役割を果たすということをしっかりした上で、別紙に全部回そうかなと思ってました。その上で今ご指摘あった、この注意事項たるものの項目がそれぞれ何でピックアップされてるか。
1:30:44	いうのはグローブボックス換気設備、気体装置搬送設備ですね、といったもの、今回資料 23 を、また久慈さんを作るにあたって、
1:31:00	出てきたものを見たときに、こういう点が足りない、こういうところをもうちょっとブレークして欲しい。こういう紐付けをして欲しいと思って
1:31:11	私自身が思って展開をさせた部分を、具体例として挙げていますので単純にそういう舞台をどんどん上げていってるだけなので、これが何の、
1:31:25	分類にはまって、何の例示になるかもうちょっと整理が必要かなと思ってました。
1:31:31	はい。
1:31:34	一つはですね、先ほどあった生産上の要求事項ってのちゃんと上げなきゃいけないねっていうのと、
1:31:42	システム設計を達成する上で配置も含めて考えなきゃいけないんだとかそれぞれグルーピングはできると思うので、そういう点をピックアップして、分類して何の、どういう目的でここを見れば、
1:31:58	注意事項がより頭に入ってきて作業に具体的に展開されるのかというのが、いうガイドの目的が達成できるようにしていきたいと思います。
1:32:09	はい。今現状はバラバラと付けて等しいのでその辺の類型義務づけ、整理というのをしていきたいと思ってました。はい。
1:32:21	はい。規制庁深見です。わかりました。
1:32:25	そういうことなら、
1:32:28	(2)の最初もそうそういうことですよ実際やってみてして漏れがあった例示ですということを、
1:32:37	まずはうたった上で、具体の中身も
1:32:42	石原さんは大体意識はしていたんだけど、作業が出てきた結果としては足りなかったんで、こういう視点でも見てねということを伝えたいものだと。
1:32:54	理解しましたその辺が、
1:32:59	例えば 10 ページ目の一番最初のポツで、思いは一応書いてあってこういうことが必要かどうかを考えることって書いてあるのでそういう意識で分かれているのかなとは思いつつ、

1:33:12	もうちょっとこういう視点で見てますよ考えてくださいねみたいなのがわかるようになればいいってことですかね。
1:33:21	はい。日本イシダでございます。はい。
1:33:25	見て、何のメッセージかがわかるということが、大事だと思いますので、そういう視点を入れていかなきゃいけないと思ってました。はい。
1:33:38	はい。規制庁、網です。わかりました。それで中身をあんまりたくさん書かなくてもいいのかなっていう気がしますがその辺は、が、ガイドを使う方、作る方もあれなんで。はい。
1:33:51	と思います私からは以上ですけどカッコ 2 関係で規制庁か何かお願いします。
1:34:06	はい、規制庁カミデ特段、括弧 2 についてはないですかね。
1:34:15	はい。特になければ、この資料全般ふりか全般として、確認漏れなり、伝え漏れ。
1:34:25	あと原燃が書いてもいいですけど、特にないですか。
1:34:29	規制庁オカです。ちょっと前回も少し伺ったところだったんですが、結局この資料は、
1:34:35	今ヒアリングを通して、確認していますが、一方で社内的にこう使っていくものというふうに前回も聞いていてで、そこで抜け漏れないように、共通認識を持っていくっていうふうに、
1:34:50	伺っていて、結局この資料はどういう位置付けにしようと考えられていますか。
1:34:58	ヤギの石田でございます。前回お話ししたところから変わってません。
1:35:03	今日、社内資料として使っていこうと思ってるところでした。はい。
1:35:07	はい、規制庁ハヤシダ共通中に、このアノ本なんかつけるとかそういうものではなくて社内で膨らましていくということで、
1:35:16	とりあえず今、こちらと、その共通収入を作成するための認識合わせのツールとして使っていると、そういう位置付けです。
1:35:27	はい、乳井西田でございますはい。おっしゃっていただいている通りです結局、これをもとにやった作業のアウトプットが 9 通 12 の資料になって 3 になるので、
1:35:37	そこでのアウトプットのレベルを、必要なレベルの部分を確保するという視点につなげるために今やらせていただいていると思ってました。はい。失礼します。わかりました。
1:35:53	規制庁の藤原です。
1:35:56	今、共通 12 のガイドとあと、現在に本体との話になったりとかスケジュールの話も、さっきの議論の中でできたのでここで聞いてしまいたいんですけど、

1:36:06	先週の進め方ヒアリングでも少し確認していた。
1:36:11	分類とグループの整理状況と、いつそれが確認できて、説明受けられるのかって、今のところの状況を教えていただけますか。
1:36:29	はい、日本インダでございます。はい。最初に廃棄物管理施設、特に再処理、はい。設計説明ぶり説明グループについての整理ですが、
1:36:42	進捗はあまり思わしくない。良いのが状況でして、頑張っておりますなんですけど、今週、整理をして、
1:36:55	状況、進捗と資料を出せるタイミングがいつなのかあとこの教育事業本部なりの改定のタイミング、呉との関係をどうするのかと。
1:37:07	いうことを、整理をして、スケジュールであったり、共通に今後の進め方の中での説明としてさせていただけるようにします。
1:37:18	木曜日を出している今後の姿の部屋の資料の中に、具体的にいつ、どういうアウトプットを出していくのか、どういう展開をしていって次につなげるのかと。
1:37:30	ということがわかるような、整理をして、お示しをしたいと思います。はい。
1:37:36	規制庁のフジワラですねと26日に提出される資料の中で、今後の進め方が見れるようになるかと理解できるようになるかということで理解しました。ありがとうございます。
1:37:55	はい、規制庁カミデそか特にはないですかね。
1:37:59	ちょっとなければ、振り返りは今日どんな感じでやりますか。
1:38:08	はい、野木西原でございます。はい。
1:38:12	法令書いてありますかねこのまま。
1:38:15	やって、SNL次入った方が、
1:38:19	上ちゃんとかいれるかなと思うので、はい。
1:38:24	はい、じゃあ、本当に。
1:38:26	次にということで、振り返りをお願いします。
1:38:29	はい、乳井西原でございます。まず全体的にはこのガイドの目的、実際作業をする人が、
1:38:39	迷わないように、どういう目的でこれをやっているのかわかるようにということで、ポイント整理をして、かつ、その中に具体的な
1:38:50	正リーダ会議乗っけながら提示していくと、ただ今、いろいろつけているページがですね、
1:39:01	随分本部についてというニワペ室も含めて定義していこうと思います。
1:39:08	あと資料2のところでは設計項目の考え方ですか説明グループの考え方、実際資料2の中で出てくるようなものでどこに何ここに何を書くのかというのが、

1:39:22	実際迷いそうな、また統一ができないような部分はしっかりとガイドの中で、記載の考え方というのを定義上整理していくと、ということだと思っています。
1:39:33	あとよいケース別のところの展開鋭意定義が入ってなかったり、
1:39:42	設置要求は本部長と事業本部でも配置設計に直接一対一で結びついていたり、実際の展開、
1:39:52	の抜け漏れが出そうなところがまだ全部置いていないところがありますんで、
1:39:57	そういったところをガイド上も整理をして、
1:40:00	変えていくということが必要だと思っています。また定義のところについては共通事業本体はもう、定義のところ項目がありませんので、そこも、
1:40:10	ガイドとの関係も含めて定義を記載を確認していくと。
1:40:15	ということかと思っています。
1:40:17	はい。
1:40:18	あとは 3.1 のところの設定項目の紐づけのところまずそもそも作業ステップとしてどういったことがあるのかと。
1:40:29	いうことを書いた上で、それぞれの作業での、
1:40:35	良い交流事項だったり、気をつけて欲しいことというのを、具体的にどうするんだということを書いていくと、ということで整理をしていきたいと思えます。
1:40:45	その中には遊休施設の見直しというのも一つのステップとしてあり得ると。
1:40:50	いうことも明示的に展開をしていくと。
1:40:53	ということかと思っています。
1:40:56	はい。
1:40:58	あとは、
1:41:02	評価条件のところは、資料 4 との関係も含めて、
1:41:08	資料 2 条の、どう書くのかってところが今やっている、今後の進め方の部屋の中でやらせていただいて、評価要求資料 4 の具体的な展開の仕方というのも含めてフィードバックかけていくということが必要だと。
1:41:24	ということで認識をしました。
1:41:26	はい。
1:41:31	いっぱい、具体的にやることを展開したときに、可能な限り等ということでは来んではなくて、規制があるものを上げた上で展開の仕方に迷いがないように、
1:41:43	ということでまた抜け漏れがないようにということで考えていきたいと。

1:41:48	思います。はい。
1:41:51	あと資料 3 のところで書いていた、安全設計以外の要求事項の話、これも今系統や機器の
1:42:00	形、全体把握のところに入ってますけども全体的な要求としてはもっと上流側で整理ができる部分があるだろうということも含めて、また、炉規法を含めた法体系以外のを、
1:42:13	法令要求なり、のところとの紐づけというのを整理をしていくということで考えていきたいと思います。はい。
1:42:22	算定にそのものは、あまりにも具体例がな、具体的な作業の方に展開できるような記載になってないので、
1:42:34	構造設計上系統設計はイセ系ということを考えていくべきなのか、また設計項目のゴコウナゴですかね、複数の
1:42:45	関係性というものが出てくるものに対しての法令といったものを、具体的な作業のイメージができるように、変えていくということ。
1:42:54	整理やっていきたいと思います。はい。
1:42:59	本当は、スケジュール感としては 2627 に共通の比嘉医院がありますので、その状況も踏まえて次の週の早い段階でこの資料がBrush版を出していく。
1:43:14	27 にそうですね今後の進め方で資料 4 の話もしますんで、そこも含めて
1:43:21	10 人、11 月 3 日だったかな、2 出すし、教授に資料の部分をフィードバックしていくときにも、全体を設定、
1:43:33	経由していくと、いうことで進めていきたいと思います。
1:43:38	はい。以上です。
1:43:43	はい。規制庁、五味です。今の点について、規制庁側から何かありますか。
1:43:52	特になければ次はSAの話ですけど、一応一旦休憩入れますかね。
1:44:00	入れましょう。
1:44:03	はい。では
1:44:06	2 時間近く経過してますんで、15 時 30 分開始でよろしいですか。
1:44:16	はい。
1:44:18	はい、じゃあ 15 時 30 分再開しますのでどこ一旦停止してください。
1:44:23	はい。
0:00:00	録音を再開しました。

0:00:03	藤規制庁カミデです。それでは次の資料ですねSAの要求事項の整理ということで、説明だったり、今日どこまで話をしたいのかも含めて、まずは説明いただければと思います。
0:00:19	はい、三浦でございますそれでは10月17日付で提出をさせていただきましたSAの要求事項の整理でございます。
0:00:31	整理方法として2ポツに書いてあり、タンプでステップを書いたりして使用の形で一緒につけたんですが、
0:00:39	いつものごとくで恐縮でございます目的が今ひとつわからない状態だとアウトプットに繋がっているところもあるので、
0:00:49	そこをまずしっかりと定義をさせていただかなきゃいけないなと思ってます。基本的にはこれ横軸で縦軸36条の基本請求書を並べて、
0:01:01	要求種別があり、横ずれ、竜巻、台風等々
0:01:08	DB側でやっているような設計の項目があり、一番最後に36条としてみたいなことで書いてるのが三つほどありますけども、
0:01:17	これ、
0:01:18	基本設計方針に出てくるSAの要求を、
0:01:21	DBの設計との紐づけをしていくということが目的でやろうと思っていたことなのでまず
0:01:30	ここで、例えばですけど、36条の、
0:01:36	何台か77番とかで、
0:01:39	2ポツ2番、3.1地震による損傷の防止観点に津波僕の火災といったところで他に、
0:01:49	のところに挙げているものがあります。
0:01:51	こういったものがまず横軸にいない人が多いということで、まず漏れなくこれをDBとひもづけるところ先を横軸にしっかりと抜け漏れなく展開をする必要があるということが、
0:02:04	まだできてないところでやらなきゃいけないと思ってます。
0:02:07	加えて、表の他、横軸の一番右にといいますけどもこの三つもですね、結局はBの設計項目等とのコラボと同じようなことをやる条件が強いだけと。
0:02:19	いうところで、何かこれはもうしないといけないということで、この内側にですね人をどうコラボしていくかの整理をしないといけないのでいきなり36条として考慮。
0:02:30	というわけではいけないと思ってますのでそういったところの整理も必要だと思ってます。
0:02:35	加えて一番右に行って新居先生いますけどもこれも当然、耐震とコラボなんですが、

0:02:43	前回今後のされ方の中で、
0:02:50	私を書く場所を間違えて、耐震や火災等への展開が必要と書いたのはまさしくこのシートで、DBとしての紐付け先を全部網羅的に上げると。
0:03:03	この展開で今まで他でやってるような展開で足りないのが出てきて、耐震火災とかがですね、ちゃんと要求事項を並べて、どれをどういう紐づけにするかの整理をしていかないといけない。
0:03:16	ということになるのでそういったものをこの後にシートを出していきながらいう形で展開の仕方というのをどんどんやっていかないといけないという意味で、展開が必要と書いてたものでした。そういった作業も、
0:03:30	やっぱ横軸を網羅的に挙げた上で衛生とDのコラボをして、これも先のBのところの整理を合わせてやっていくということで作業がさらにやらないといけないことがあるというふうに認識をしています。
0:03:45	ということでございます。
0:03:47	あと加えて先ほどあった冒頭制限の整理の仕方ちょっと36条を例示として、どう整理するか、やるのがいいのかどうかってのありますけど、
0:03:59	ここでも同じように冒頭宣言が出てきて、展開をしています。こういったところでもう冒頭宣言として整理したものが、確かに大丈夫だと、何らか受けて帰ると。
0:04:10	いうことを受けとめ、受け手の関係が成立していると、いうことを、これの中でも整理をしていくということが必要だと思っています。
0:04:19	定義も然りかと思えますけどもそういったことをやっていこうと。
0:04:23	いうことも併せてタスクの中で、さらに展開をしていきたいと思ってたところでした。
0:04:28	はい。
0:04:29	資料の説明というよりはどう直した形を説明してしまいましたが、今後、引き続きやっていきたいことは、以上でございます。はい。
0:04:41	はい。規制庁上出ですナカナカノ。
0:04:45	この中で今どこまでっていう感じもしますけど、規制庁側からその上でも、確認してすることとあと今後に向けて話をしておくことがあればお願いします。
0:04:59	規制庁のフジワラです。今カミデからもありましたけど、ちょっと、
0:05:05	余りにもな資料が出てきちゃったかもありますけど、まず、目的がちゃんと書いてないと言ったところ実際、これまでの流れ踏むと、
0:05:18	DBとSAで、合わせて整理とかができる部分とかを整理する前に、まずはSAの基本設計方針とかから抽出することが重要でそこからやらないといけないっていうことをしたい資料だということ。

0:05:34	かと思っていますがその理解でいいんですよね。
0:05:38	はい、上西でございます。はい。それで、オンダにございません。はい。
0:05:42	はい。規制庁の内田です。そうすると、まずそれにタイトルとその目的のところの、少し間も見て欲しいなと思ったところが、
0:05:53	SAの要求事項の整理って書かれちゃうと、SAの要求事項ってもっと本当はありますよねって言ったところも、やっぱり言いたくなってしまうって、例えば個数容量とか、試験検査性とかってこの、
0:06:06	カセに入ってるのかって、範囲には入ってなくてっていう理解でいいんですかね。
0:06:17	はい、泉谷でございます。まずは、確実にまず抜けているのはまずもって駄目だと思うので。いえ。
0:06:25	上でどう整理するかっていう考え方も含めて、この頭の文章で書いてその整理の結果を示していくということが必要だと思ってます。はい。
0:06:35	はい。規制庁の藤丸添付1の縦軸には個数有料であったり試験撮影の部分もあるんですけど、結局は全部バーが並んでるので、ここで整理したいことは何ですかっていったところが少し疑問に。
0:06:48	思っていました。なので、目的として何を整理したいのかっていったところはきちんと、この資料の中でですね、整理したいことって言った目的はきちんと、
0:06:59	表していただきたいと思っていますのでよろしくお願いします。
0:07:05	はい。与儀インダでございます。承知いたしました。
0:07:10	規制庁の梶原です。次に整理方法の部分とかのところでちょっと気になる点というか
0:07:17	に二つ目のポツとか、下から二つ目とかもちょっと関係はしてくるんですけど、共通12の資料2を見据えてっていう話で、DBの設計方針番号とひもづけることになるってなっていて、
0:07:32	この整理の方法とかで書かれるんだったらこの整理の考え方を書くのかなと思っていたんですけど、これは何か未来形で資料2の方でだけするっていうふうに読めたんですが、
0:07:43	DBの設計方針の番号ってもうすでに振られていると思うので、むしろここでやっちゃってもいいんじゃないかと思うんですけど認識いかがでしょうか。
0:07:55	はい。与儀莉愛でございます。はい。まず、
0:07:59	この後つくる整理の結果を示すための整理方法等に、他に預けているのはちょっと位置付けはおかしいなというのと、間宮池野もあつた話なんで、

0:08:11	この資料の中でしっかりと基本的なことも決まっているものですので、紐づけていくということかと思えますはい。
0:08:20	甲斐規制庁の藤原ですよろしくお願いします。
0:08:23	あとまだ整理ができてないというところ添付 1 なんか特に、いろいろとまだやらなきゃいけないことがありそうな気はしますが、この後少し気になる点は確認していこうと思いますが、
0:08:37	その中で整理方法のところは、添付 1 を整理する際に、気になったっていうか整理しなきゃいけない考えとして整理しなきゃいけない部分っていうことは、
0:08:47	ここら辺、どんどん追加されるっていうイメージで言っているんですかね。
0:08:53	はい。
0:08:57	目的をちゃんとカッコとってるとその目的に沿ってどういうことを整理するかという点での留意事項があれば、この中で確認していくということだと思ってます。はい。
0:09:09	はい規制庁のフジワラですわかりました。本文のところでは私が確認したいのは以上でそのあと添付の 1 の方に入っていきたいんですけど、規制庁側から本部の方でも何かあればお願いします。
0:09:25	特にないですね一応コサクです。ごめんなさい現状の本文ではコメントないんですけど、
0:09:32	先ほど石原さんが言われた、添付 2 入ったところでの縦軸横軸みたいなところの話を本文に書き表さなくていいのかっていうふうに思ってるんですけど。
0:09:44	どういうふうに認識されてますでしょうか。
0:09:47	はい、日本インダでございます。はい。先ほどのガイドじゃないですけど、どういう目的でどういうことをやるのかっていうのをしっかりと書いていく。
0:09:58	それが具体的にその形になるのが添付 1 ですのでそういった、どこにどういうことを展開しなきゃいけないかっていうのも、本文じゃないといけなと思います。はい。
0:10:09	そういったところも確認していきたいと思えますはい。
0:10:12	はい。補足ですお願いします。まず縦軸のところ冒頭宣言云々っていうことと言えば、共通 12 のガイドなり、を踏まえながらやっています。
0:10:23	いくということがあれば十分かなとは思いますが、横軸に展開してくような話の場合はまず横軸どういうふうに抽出しますかだったり、

0:10:35	その関連性をどうマーキングしてきますか。マーキングのその※の付けるとかかっていうのは書いてますけど、そもそも何にマルつけるのかかっていったところが大分、
0:10:45	イメージが合っていないので、そういったところは明確にしていただければということかと思えます。
0:10:55	はい、宮城でございますはい承知いたしました。
0:11:04	規制庁の藤原です。それでは、添付1の方に、
0:11:08	クリタイデ先ほど江藤イシハラさんからも、
0:11:12	欲求種別のところの先ほどの話もありましたけど、ガイドに従ってというところで、実際まだやっぱりそのガイドが作られている横でこれも提出されてたので冒頭宣言っていうのだけで終わってて、展開が見えなかったりみたいなのところもありますので、
0:11:30	その辺りタテ田地区のところでも整理はしていただきたいと思っています。
0:11:34	次に、横軸の部分なんですけど、考え方がまた、最初の整理の方法のところ展開されるとはいつ、ちょっと。
0:11:44	さっき話聞いてる中で、
0:11:49	実際横軸で網羅的に示されていないってというのは何だっという認識なのか、認識をお聞かせいただけますか。
0:12:00	はい。新美ニシウラでございます。はい
0:12:06	ですね、まず、項目として抜けているという意味でいくと、耐震
0:12:14	コラボ云々っていうのがどう整理するかは難しいですけど地盤耐震、津波、
0:12:23	という項目が、あと在庫ですかね、ABとの関係でいくと、ということ、
0:12:33	が抜けているというのと、アウト、ここにあること自体が
0:12:40	教育となると思うのが配管の全周破断。
0:12:43	これは溢水とコラボするということの整理だとするとこの横軸には出てこないものだと思っておりますのでそういったことの整理1課必要だというふうに認識をしております。はい。
0:12:58	規制庁の志村です。抜けている項目としてというところで、大臣なんかもないし、津波もないだとか、そういったところは私も感じていたところで網羅的に抽出というのがされたのだろうか。
0:13:11	と思っておりますが、溢水とコラボするということで全周破断があるかどうかってなったときに、
0:13:20	その手前にある、火山、火山影響と、設計を超える火山っていうのが横並びになってるこの思えるところは、

0:13:30	はい。これもそうです。はい。これもいいですか。はい。失礼しました。はい。これ。はい。整理の構成という意味で言うと、
0:13:42	ジャンプアップさせた条件でもコラボしようとしているところは、まとめて一つの項目にされようとしてるってことですかね。はい。結局DBとして、受けてやると、ここでコラボしてやるということ言えば、
0:13:56	ハダの場合は火山の影響というのが82ほど、この中で、縦軸上は当然、設計を超える数みたいでできますけどその展開先が、
0:14:07	ADDでいう方の影響というところの中で展開をしますよという機能付になると、ということだと思ってます。配管の全周破断もしかり0。
0:14:17	トダテコジマイデてくて令和タテ軸から配管の全周破断なるものが出てきてこれを横軸で有意水の中で紐づけをして展開をしていきますと。
0:14:29	ということ、整理ができるのかなと思ってたところでした。はい。
0:14:34	規制庁、藤原です。そうすると、地震も、設計基準に書いてある地震の耐震のところと、1.2井清数はコラボして同じ枠になるってことなんですかね。
0:14:48	はい。人間の資料でございます。はい。そういう整理、こうしようと思ってました。はい。
0:14:55	はい。規制庁の岩井です。そのときっていうかそもそもこの上の枠で設計基準と連携する事象とか、36条としてまとめるってところの、
0:15:07	窯業ですかね、は特にもう、完全に意味はなくて、そういったんじゃないかっていうことで、並べていくってことですかね。はい。ヤギニシウラでございます。はい。そういう形にしようと思ってました。
0:15:21	36条で既遂とかあと重大事故における条件なんかも、Dで言う、Dで言うっていうかSM条文があるんですけど、
0:15:32	材料微構造の中で展開をしていくということで考えてました。はい。
0:15:38	規制庁の藤丸で材料及び構造の項目が立つ。
0:15:44	ていうところからすると、その前の冒頭で言った試験検査性とかって案いうとかの関係ってどうなります。
0:15:57	はい。与儀ニシダでございます。はい。そこも横軸に勧誘がいて、そこと紐づけをするということかと思えます。はい。
0:16:08	なのでまず横軸裏にあげるかってところで抜け漏れなくちゃんとまずやらないといけないと、ということとその抜け漏れなくって言ってる趣旨は、縦軸にある要求事項が、
0:16:20	設計基準のところと、コラボをするのかということの整理の上で、横の抜け漏れがないということになるのかなと思ってました。はい。
0:16:31	規制庁の藤原です。

0:16:33	わかりましたかなり横軸はもう一度考えられて整理されるということで、認識はしましたが、この横軸の関係で規制庁側から何か確認等ありますでしょうか。
0:16:46	規制庁コサクです横時空の話を聞いて縦軸も心配になったんですけど。
0:16:56	タテ時空でいう等SAの条文要求ってことになって最初に藤原からもあったと思うんですけど、36条のうち全部ですかみたいなことがあったり、
0:17:08	あと
0:17:10	地震、
0:17:12	津波を入れるんだったら対応するSAの条文もあると。
0:17:17	ということなので、それもひきつれとかナイトウ、
0:17:21	何か全体体系としておかしくないかという気が。
0:17:24	するんですけど、そのあたり、SAとしてどこまで入れるかっていうのはどうなります。
0:17:39	はい。与儀ニシダでございます。はい。
0:17:44	先ほどあった
0:17:47	横軸にまずう地震であったり、津波であったり、代行であった言うとおっしゃっていただいている通り、同じ名称で、
0:18:00	SA側の条文要求も出てきて、そのの、
0:18:06	どことどうひもづけていくのかということを整理をするためにはその要求事項の提示の展開もしないといけないと。
0:18:14	ということだと思ってます。それを、この後に、
0:18:18	足して、それぞれの要求事項を展開していく必要があるのかなと思って、この間の今後の進め方でちょっと私間違えましたけど、
0:18:28	この展開をさらに拡充しないといけない対象として、耐震の話とか、火災の話とか、そういったところにも波及させないといけないかなと思ってたところだったんです。やること自体は、
0:18:43	動く、多分ボリュームは多いんですけど、やっていかないと、どういう整理するのかっていうのが同じようにできないかなと思ってました。はい。
0:18:51	はい。コサクです。ただですね、呼び込めるだけの方針なはずなので、物量としてはそんなにないと思う。
0:18:59	ですね、なので関連するものっていうのは一色入れて、整理をするということで縦軸もふやすということで理解をしました。
0:19:10	ただ、
0:19:11	でいいんですよ。
0:19:16	はい。

0:19:18	はい。
0:19:19	はい。
0:19:21	それで、古作です。聞こえてます。
0:19:26	はい。はい。その上で横軸ということになって、横軸の方は、DBの条文、
0:19:37	なり外部衝撃の方は、条文単位だとわかりにくいので、細分、受賞として細分化をしてと。
0:19:45	いうことで上げていってそれに関連するところ、
0:19:51	SAの要求から関連するところをマーキングしていくと。
0:19:55	いうことで漏れなく対応されるっていう理解でいいんですよ。
0:19:59	はい。日本原電志田でございます。はい。おっしゃっていただいている通りでございます。
0:20:04	はい。コサクですわかりました。一旦
0:20:07	藤原さんにお返しします。
0:20:10	はいフジワラです。
0:20:14	横軸は整理をされて、あとあれですかね、SAの条文があるものは後ろに、
0:20:24	含まれて、
0:20:25	追加されていくということで、そうなった場合に、すいません、今度ナカノマーキングとかの仕方でまだマークとかが前、ちゃんと整理できてないというのが、
0:20:38	冒頭説明で、類似なんかも挙げられてましたけど、
0:20:43	さっきの関連でいくと、
0:20:45	4 ページ目の、
0:20:48	17 番、
0:20:50	5 日 15 条として展開ってことは、これの分は、
0:20:56	次のシートができてそっち側で見ていくって感じになるんですか。
0:21:03	はい。乳井ニシダでございますこれも多分やり方を決めないといけないと思ってましておっしゃっていただいている 35 条というSAの火災の条文があるので、
0:21:15	そちら側でという紐付けも含めてこの後に追加をするシートとの関係性を示していくということかなと思ってました。ただここで言う、
0:21:26	丸付けの 0 っていう意味が、わざわざ変える必要があるのかということも含めて、間考えは整理しなきゃいけないかなと思ってました。はい。
0:21:38	はい。規制庁の長です。

0:21:40	はい。気になってたのは 35 条って結局 11 条と同じようなことをしてた気がするので、その分を含めてこっってどういう記載にするんだろうというところが、実際、
0:21:51	考えとして聞きたかったところでもあります。なので、その記載のルールがどういうふう丸をつけていくのか、今回の資料見ているだけでも、丸 2 個目って話は、最初の冒頭の説明ではあるんですけど、
0:22:05	その後ろに少し何か書いてあると、それが状況状況によって、文章が違ってたり今みたいな、括弧書きなんだけど場をしながらも括弧書きって健全性説明書ですかね。
0:22:19	そっちでっていう話もあったりということでもちょっと記載のルールが、まず、
0:22:25	stageできてるのかっていったところを気になったんですけど、今聞いていると、その記載ルールももうちょっとちゃんと整理しなきゃっていう段階なんですかね。
0:22:35	はい、西田でございます。はい。横軸と後その最終ゴールを、
0:22:44	がふらついた結果がこの丸つきの仕方に。
0:22:51	ヤギがあったのかなと思ってます。
0:23:01	笠井のところに行って 35 条については、他でやるという意味で降ることだけをもって観光書いていたと。
0:23:10	ただここ降りください。
0:23:13	あと、関係条文との関係ってのはパターンが二つありますねと、完全に DBとして立てるのに、SAがコラボしに行くというやつと、この部分で、SAとしても、DBとしてのSAとしても、条文もあって、
0:23:27	そういうちゃんと上げた上で、それぞれのケースという記号のつけ方をしていくかと、その機能をつけたことによってどういう整理に結びつけていくのか。
0:23:37	いうことを、まずはちゃんと整理をしないといけないと思います。
0:23:48	先ほどあった目的が思ってたして、まずはDBとのコラボの話の整理をするんだという前提のもとに整理をしていくと、小さくなるようなものがなくなるのかなと思ってました。はい。
0:24:06	はい。規制庁の三浦です。ちょっと音声が見てたんですけどぎりぎり、理解できた範疇かなと思うので、そうですね健全性説明書って括弧で書かれてる部分を、
0:24:18	何をしたいのかなと思っていた部分ですので、あと、今後整理が進むとそういったところはなくなってまずDBとの関係性の整理が見えてくると、その先でっていう話。
0:24:29	なのかもしれませんし、その辺り整理をしていただきたいと思います。

0:24:35	前回、
0:24:36	についてもこの展開の仕方だ。
0:24:40	冒頭宣言で、
0:24:43	の時に、
0:24:44	まずマークをするのかどうか。
0:24:47	みたいなところも、
0:24:49	整理ができていいのかよくわからなかったんですけど冒頭宣言と書かれたときには、まず丸はつけずにその展開先で丸をつけていくとか、何か変えていくみたいな方向性っていう理解でいいんでしょうか。
0:25:03	はい。与儀ニシダでございます。ここ、
0:25:07	特にこの 36 条の場合は、考え方を、特殊な事例があんまり出てくると困るんですけど、考えないといけないと思ってまして、
0:25:20	36 条の 17 って書いてですねこれ冒頭宣言にしかなりえないような定義なのかという、いろんな部分ありますけど、他にも飛ばすことだけを書いている人。
0:25:33	これはいわゆる 36 条の 16 みたいに、この下に受ける人がいるという設計方針と若干経路が違うので、
0:25:42	今右に書いて 30 ゴトウとして見解って書いてますけど、これあくまで 1000 冒頭宣言としての役割は、他の基本設計方針で設計受けますよと。
0:25:53	言っているところなので、ちょっと書き方は他の 36 条の 16 みたいなものとは、書き方が変わるのかなと思います。そこは目的に応じて、
0:26:05	どう変えていくのかっていうのは整理が必要だと思います。そういう、
0:26:10	例外品がいるということも、ガイドであったり、中ではちゃんと受けて、展開をする、何が何でもそれを全部、この下に出てくる番号で紐づけるんだよというものばかりではないよという例外かと思いますので、
0:26:27	そういうところを押さえていく必要があると思ってます。はい。
0:26:32	はい。規制庁の藤原です。
0:26:34	おっしゃられてたように、その冒頭線アノGuideからすると冒頭宣言で終わってしまうものって本当はない。
0:26:41	ものであって、それを何か整理するのであれば冒頭宣言のところの整理もきちんとしていただかなきゃいけないことになりましてし、もしくは冒頭制限という形で書くのか、
0:26:53	それとも違う形で表記するのかみたいなところか、検討いただきたいと思います特に、SAの場合はこういった、これに基づく設計とするっていう話って、幾つか出てくる気がしていて、

0:27:05	それがうまくどっかに紐づいて展開がされていればそちらに振るのかもしれないけど、
0:27:12	ただこれ結構本当は、DBと結びつくキーワードでわかるので、整理がちゃんとしていたきたいポイントではあるかなと思っています。
0:27:24	続けてすいませんそこは整理していただくということかと思えますけど、次の19番、何か設置要求があるから、
0:27:33	あれですかね、他で冒頭宣言で他に振ってても、
0:27:37	一斉のところは丸野米、松木で他のところ、36条の87、119にて展開しているふうになってるって整理でいいんです。認識でいいんですかね。
0:27:54	はい。宮城ニシダでございます。はい。
0:27:57	大和久
0:28:01	一成算部員漏えいとか火災とか設計上基準よりも厳しい条件になるようなベッショハダみたいなものを考えながら、機能が損なわれるような、設計、職場内の設計にしないと。
0:28:15	というのがこの下に出てくる。この要求との関係での冒頭宣言の役割。
0:28:22	あと、認識をしますべーん、
0:28:25	あと直接、これも先ほどの話でガイドにあった、直接紐づくような話といえばここでしか要求が出てこない人たちが万が一の場合は、
0:28:39	ここで受けている方法もあるのかなということで設置要求という形を足して、この丸井※1のところ、イセ、
0:28:59	ほぼ、
0:29:02	あ、あ、
0:29:05	オク。
0:29:07	ウツミ。
0:29:10	イ、イ、
0:29:11	イ、イ、
0:29:13	三品。
0:29:14	規制庁横山です。それで、石原さんの声が大分音声も途切れてしまっているんですけども、
0:29:21	ちょっと見直す。
0:29:29	今復活しました。
0:29:32	そうですか。今の、もう2分間ぐらい。
0:29:36	さかのぼっていただいて、
0:29:38	はい、わかりました。はい。まず36条の19ですけど、この中ですべてがすべて冒頭制限として36条の八十七、八十から109ですね。

0:29:53	これに振り切れてるかというところに若干の懸念事項があったので、蒸気漏えいの位置的分散、そういったところを拾うために今設置要求というのをこれ出したのかな。今回、
0:30:09	出したのではもともとあったところで、もともとそっちを
0:30:20	その流れの切り分け、ここでいう可能な限り位置的分散を測るかの前までが設置済みまたは0健全性を確保する設計とするこれ健全性なので、
0:30:35	環境条件側とのコラボが出てくるところはそちら側での受けがいるというところ、この業績汚染の内容を見て、
0:30:45	設置要求の部分と、冒頭制限の部分ということを振り分けて書いてます。
0:30:51	この結果まずそもそも要求事項として正しいのかどうか、理解がですね、というところの整理も必要かと思います。
0:31:04	はい規制庁の藤原です。
0:31:06	今その切り分けられている19の中にカナダフナツおつきく今ちょっと、
0:31:14	音声東京支社の方は、
0:31:18	はい。
0:31:19	今、水谷はい。
0:31:23	規制庁の部長です。衛藤。
0:31:26	その19のところには、余要求というか
0:31:30	話が二つあってということで位置的分散の話と健全性の話があると、D1希望さんの方は設定を、設置要求の方であると、現実の方は、
0:31:41	環境条件との関係で、冒頭宣言になっていることということで理解しました。
0:31:47	で、そのときに、じゃあ、この椅子、これ本当は丸付けがもうちょっとやらなきゃいけないこともありそうな、
0:31:57	気がしますが、そうですね、位置的分散が積極っていうんだったら、
0:32:02	一斉各薬品漏えいと火災、
0:32:06	全周破断があるので、丸つけ方っていうのは整理が必要なのかもしれませんけど、この時に都丸へと一斉のところマル※1が振ってあって、
0:32:17	次36条の87。
0:32:20	119っていうのはこれは、
0:32:23	設置要求側下の、
0:32:26	不利ってことなんですか。
0:32:28	っていう理解。

0:32:30	はい、乳井瀬谷でございますはい 87、110。そうですね設置要求が健全性の確保も、
0:32:43	FARO中桐一泉さんのところの、
0:32:47	コラボ先ですかね。はい。
0:32:51	でもこれおかしいんだよだから。だからさ、87 番に振るじゃん施策で健全性の話なんですね。
0:32:58	結局判定基準ここで、
0:33:00	確認するんだから、87 人全部 1 回振らないと駄目なんだよ。
0:33:05	だから 19D設置要求なんて書いちゃうと、授業で答えを出さなきゃいけないんだけど、答え出せない。
0:33:13	だから 87 番のときの展開をした先の設計の評価とかの判定基準が二つありますってできない、どちらかでそうそういうこと。
0:33:24	ていうことをちゃんと表さないといけないんじゃない。うん。
0:33:28	これだと、何を最終的にできるのかわからへん。
0:33:33	すいません勝手にやってないということじゃない。今で言うと、冒頭宣言の方でも 87 番引用されてて、はい。混乱しているんだろうなと思うので、
0:33:47	整理をしていただき、
0:33:54	だ、多分ごっちゃになっちゃってるっていうことだと思うんですね、じゃあ 119 は、その意味ではどういう意味なのというのが、
0:34:06	IVと宣言で振った上でなのか、設置要求としてなの、丸をつけてるのかっていうことなんですけど、丸をつけてるにもかかわらず、
0:34:17	何番にて展開っていうのはおかしくないですか。
0:34:24	はい、日本インダでございます。はい。おっしゃる通りだと思います丸をつけたら 0 計画で受けるというウノ設計の展開をするということだと思うので、そこも、最初の資料の、
0:34:36	作る目的の関係でどう、どうあるべきかというところをちゃんと整理をしていきたいと思います。はい。
0:34:47	藤原さんどうぞ。
0:34:49	規制庁の藤原です。ありがとうございます実際に、そうですねマルつけ等古宇ってところの整理も、この資料見てるだけではわからないところだったので、その辺りの整理を、
0:35:02	やっていただきたいと思いますそういう意味では、あれですかね、29 番とか、そのページの一番下とかなんすけど、これも結局マルがついてるのに、これも同じ 87 と 119 ですけど、
0:35:16	売ってるのがおかしいってことでこのあたり一斉に綺麗になっていくって理解でいいですよ。

0:35:22	はい、日本イシダでございます。はい。おっしゃる通りだと思いますこちらでも可能な限りの分散を図る設計とするという語尾を持って設置要求に、
0:35:33	しながらもう多分評価強化する時の判定基準が、先ほどのやつとコラボになるんで、結局は不利にいつてるということじゃここで答えが出ないんですねという話にもなるので、
0:35:45	その辺の設計、基本的方針の要求事項をどう理解してどう展開するかと。
0:35:52	いうことを考えてこの丸付けをしないといけないということだと思ってますはい。
0:35:58	古作です。はい。ごめんなさい。コサクですけど、危機的分散っていう要求対応っていうこと等、
0:36:08	必要な機能を損なわない設計というときに、機能を損なわない高さへの設置、
0:36:17	被水防護裨益防護を行うことによりってのは意味が違うので、
0:36:24	やっぱり何かそれぞれ並列であって展開じゃなくてそこで説明するんだっていう方が、
0:36:30	正しいような気がするんですけど。
0:36:35	どうなんですかね。
0:36:37	はい。与儀ニシウラでございます。はい。ちょっとそこも含めてそっか。だから19番は常設だから、オアになっているので、どこでちゃんと舞台展開する場が必要だし、
0:36:50	29番は可搬の話で、市田木部さんが設計の要求としてやらなきゃいけないこと、だからそこは位置的分散を、
0:37:00	同時に機能が損なわれないってことを判定基準にして、具体の設計を展開していく。
0:37:06	いうことだからここでクローズしないといけなくて87番と199番に振ってはいかんということで、
0:37:12	はい、はいちょっとありがとうございますちょっと頭の整理をしていきます。はい。
0:37:17	はい。補足ですよろしくお願いします。それって、もれなくやっていくとう配置設計で説明するものと、構造設計で説明するものっていうのになっていくはずで、
0:37:29	そのときに、DBプラスっていうことが出てくるということだと思うんですね。その辺りがこういうところをちゃんと拾っていくことによって整理はしていけるんだと思うのでよろしくお願いします。

0:37:46	はい。弓削西田様でございます。はい。ありがとうございます承知いたしました。
0:37:53	規制庁の藤原です。
0:37:56	で結構今の言った、お伝えしたような整理をしていただくと大分綺麗になってみえっと一理解が進むのかなと思って、
0:38:07	いますが、あとちょっと、菅衛藤、細かいですけど、
0:38:12	気になるところを何点か確認させていただきます。
0:38:18	例えば、
0:38:20	8 ページ。
0:38:22	なんかで言うと、8 ページのところ 91 番とか 92 番なんかはマルつけて、風のところだと丸をつけて、竜巻とあわせて説明と書かれていて、
0:38:36	節積雪のところも、火山とあわせてっていうふうにはされてるんですけど、片側にしかこれって書かないんですか。
0:38:47	おっしゃってることはわかりました。はい。竜巻にも書くんだろうというです。ただ前提で条件としてお話をしますと、
0:38:57	DBの世界で 8 条のその他にあたる自然現象の添付書類ですね、ここで言っているのは、風括弧台風については建築基準法だったかなんか風速か、標準風速だっけな。
0:39:12	47 メートル、100 メートルの竜巻の風速に包含関係にあるんで、評価自体は竜巻側でやりますっていう降り方をしてるんですね。
0:39:22	セット火山も同じ、平均垂直何とか積雪量等、火山の降灰野瀬、
0:39:35	積もる高さ荷重を考えると、購買側で、その評価が、設計上の考慮が多くできるんで、カガワの方で説明をしますという説明になる。
0:39:48	てます。なので、こちらでの振り方も同じやり方なのですが、わざわざここで括弧で書かなくてもうまる快適や結果そうなるんで、あんまりここで括弧で書く必要もないのかもしれないかもしれません。はい。
0:40:03	清町の藤村です。はいDBの方で考えられてる内容も知りつつなんですけど。そうですね。
0:40:12	書く必要があるかみたいなのも含めて整理をいただきたいと思います。で、
0:40:19	ちょっと似ているけど違う例示でいくと 123 番の 10 ページ目の 123 番なんかは、適切と火山の話なんですけど、
0:40:32	丸で※で、文章が書かれてると。それが両方とも同じ話が書かれてるっていう。これは整理として、
0:40:43	併せてでもないし、
0:40:45	両方ともに両方とものが書かれてるんですけど、どういう整理状況なんでしょうか。

0:40:51	はい。与儀ニシダでございますこれはさぼりですね。はい。やるのであれば、積雪のところには除雪呉とかの話を書くし、
0:41:02	カガワの方には、フィルターの交換とか、清掃、除灰建屋の配置ですかね、そういったことを
0:41:12	SAの要求として課しますよということを、※で書くことかなと思いました。はい。
0:41:19	はい。規制庁の藤原です。そうですね。必要な部分ちゃんと理解した上で、記載をしていただきたいと。
0:41:28	先ほどのDPの話での、あわせてっていう部分についても、わかるようにしていただければいいと思いますし、その辺りちょっと自分たちでどう設定してどう記載していくのかみたいところは、
0:41:40	きちんと整理をいただきたいと思います。
0:41:44	あっと、
0:41:46	1件すいませんせ。
0:41:49	経営後すいません要求書別のところの記載なんですけど、これまでのガイドとかの話だと、冒頭制限があって冒頭選任からどこどこで展開という形で記載。
0:42:01	していく流れだったんですけど、それが基本冒頭宣言だけ先にあって、後に展開が来るっていう話が基本だったと思うんですけど。
0:42:12	12ページ目の、
0:42:14	153番と、あと154ページか4。
0:42:19	5番6番の関係性って、場所が、
0:42:24	逆転した、してるんですかね、オノなんか、
0:42:28	153に振ってる154から156が、これってこの整理で、
0:42:34	いいのかっていったところ、
0:42:36	どういう認識か教えてもらっていいですか。
0:42:40	はい、新原でございますまず
0:42:44	はい、ありがとうございます。
0:42:46	私も気づくのが遅れまして、基本原則で当たり前ですけど逆流はないです基本なので、これがどういったことなのかはちゃんと整理をします。はい。
0:42:58	逆流があるとそもそも冒頭でも何でもないし、どうやってぶら下がってるのかもよくわかんないし、
0:43:04	の意味がわからんのははい。そこは、
0:43:07	なくなっはならんので、

0:43:09	是正が1から修正をしますし、本当にこういうぶら下がりの仕方があったところを見に行くかっていうことも含めてやらせていただきたいと思います。はい。
0:43:19	はい。規制庁の藤村ですよろしくお願いします。本当に展開が必要なのであれば、ガイドの方にもちゃんと展開していただきたいと思いますし、今一度、力内容、
0:43:32	確認した上で整理をいただけたらと思いますよろしくお願いします。江藤 笹井。
0:43:38	すいません、私が続けて出てしまってますけど、最後の復興とか16ページ辺りとかって、16ページ15ページとかですかね。
0:43:47	耐震の話の、
0:43:49	36条の文章の中で展開されてる部分って、基本的にバーが並んでるんですけどこれは、
0:43:57	後で整理して、しようと思ってる。うん。うん。でも情報じゃないか。ちょっとこの辺ってどういう整理状況なのか教えてください。
0:44:05	はい。米屋でございます。はい。これは耐震とのコラボって、耐震の欄が、横軸いなかったのも、バーってバーツとは言いながら1.2先生頑張ってるね。
0:44:21	何やってんだったら、もうここまで来ると。
0:44:26	もう整理する基準からいって、
0:44:29	違うではそこを含めて先ほどあった横軸をちゃんと抜け漏れなくやるといふのと、今のコラボの仕方の上でのこのマルつきの整理と、
0:44:39	いうことをさせていただきます。はい。
0:44:43	はい規制庁の藤村です。私も、
0:44:47	認識としてはちょっと疲れてきたのかなっていうふうに思っちゃいました。で、その14ページなんかでいうと、1.2Ssのところの欄2、
0:44:57	これは何。181番とか182番とかですかね、建物構築物については設計基準とあわせて説明って書いてありますけど、基本的に、
0:45:09	建物構築物だけを一緒にやるんじゃないっていう理解でいいんですよね。
0:45:15	はい。日本原燃志田でございます。はいとまずはおっしゃる通りでございます。はい。1期配管も、
0:45:24	耐震、
0:45:27	での設計の仕方と、
0:45:30	許容限界だけを多分変える形で評価の仕方は変わらないと思って同じように展開していくということを前提に紐づけをしていくと、ということだと思ってます。はい。

0:45:42	はい。規制庁の藤原です※書きでわざわざ振られてたので、気になったところでした。横軸縦軸、あと追加される条文なんかとの整理で、ある程度
0:45:56	綺麗になっていくのかなと思いますが、今一度整理をお願いします。とりあえず、
0:46:05	そうですねこの添付 1 でざっと私が聞いたかったところは以上なんですけど規制庁側で何かわかりますでしょうか。
0:46:13	規制庁のですよろしいですか。
0:46:18	はい。
0:46:19	それ、ちょっと細かい部分になるかもしれないんですが先ほど冒頭宣言野瀬の話の中でもしかしたら聞き逃したかもしれないです 4 ページの、
0:46:29	36 条-20 ですかね基本設計方針番号で、ここって冒頭宣言になっていて、基本飛ばしてるんだと思うんですがこの中で右側見てるの航空機落下だけマルついてるんですが、やっぱここは何か冒頭制限の考え方と、
0:46:45	何か理解できてない。はい。ここは説明をしておかないといけなくですね、20、36 の 20 基本アノおっしゃっていただいた冒頭宣言です。
0:46:57	割付はそうなります。この鳥羽瀬崎で受けてるものが、
0:47:04	2、36-20 の書いてる項目全部受け切れてるかと言われると、
0:47:10	航空機落下だけ受けきれなくてですね、行く先がなくなって今ここに丸をつけました。はい。ただ、これこの後、
0:47:20	ドイの中でどうやって説明していくつもりなのかっていうのを整理をした上で、本来の、どうあるべきかっていう整理をしていかなきゃいけないなと思ってました。現状マルつけてるのは 36 条の 20 の中で出てくる。
0:47:34	いろんな事象の中で、航空機落下だけがこの 91 番から 105 番の中で受けてないという項目だったからマルを付けというのが、生活でございます。はい。
0:47:46	はい状況はわかりました。記載ぶりかなんか、例外的なもので何か困ってるのかなとは思ったんですがそういうものがあれば、できれば説明するなり、資料上でわかるようにするなりしていただいてここを整理するっていうことなんで、
0:47:59	はい整理の結果もあわせて今後見ていけたらと思いますよろしく申し上げます。
0:48:06	はい。与儀ニシダでございます承知いたしました。
0:48:12	水間社長からです。よろしいですか。
0:48:18	はい。外部活動関係で、縦軸横軸とも関係して、
0:48:23	近隣工場等の火災という

0:48:28	ね。
0:48:28	この整理で、石油備蓄基地火災とか航空機墜落火災とか、二次的提供やばい煙とか、いろんな
0:48:38	展開していった、この火災による影響というのがあるんですけど、
0:48:43	SAの世界のこの近隣工場等の火災だけで成立かものなんでしょう。
0:48:56	はい、与儀西原でございます。はい。
0:49:01	おっしゃっていただいたようにこの横軸でのコラボの仕方として、配慮する点ってのちゃんと抜けなく、この中でも出されなきゃいけないところもありますんで、
0:49:14	どこかに固めてやるという手段を、一旦はとってはみたんですが、これだとちょっと都合が悪いという説明がうまくできないなと思っているところですので、
0:49:24	同じ事象の中でいくつか項目分かれているものについては、丸を付けるときコラボの仕方を整理するときどういう示し方をするか。
0:49:35	いうことも、表の作り方という点で前段で決めて、整理をしていければと思います。
0:49:42	はい。規制庁勝ですおそらくそういう窮屈さが、例えば9ページ目の36条の100、
0:49:50	森林火災に対して防火滞納違い設置というところで、近隣工場等の火災の爆発も全部、
0:49:56	寄せてしまったりその次のも、
0:49:59	そうなんですけど、
0:50:00	ちょっと窮屈さを感じて、本当にこれ整理できてんのかなというところで、
0:50:05	コメントでしたので、その辺は展開した方が良いと判断されるのであればその
0:50:11	方針でお願いします。
0:50:15	はい。宮城イシダでございます承知いたしました。はい。はい。
0:50:22	若干、基本設計方針での記載の、
0:50:27	又吉もあってですねうまく表現する考え方を整理していきたいと思えますはい。
0:50:32	静聴お話よろしく申し上げます。私から以上です。
0:50:37	あと、規制庁カミデです。ちょっとわかんなくなっちゃったんですけど、この支出表だったりとか、何のためかっていうと、
0:50:47	1ページベイクと共通12、
0:50:51	DBと一緒に示せるものをあぶり出すという感じになっているんですけど。

0:50:59	そうなると今出て来てるMOXのグローブボックスがあるじゃないですかあれはもう
0:51:07	あれ、末松関係ある設備ですよ。
0:51:11	はいのイシダでございます。SAの発生日にあるグローブボックスとかボクサー第3回の申請ですので第2回は対象としては入っていないというのが出て、
0:51:23	はい、規制庁、わかりました。全く関係なしだからこれは採取、今回の初登場としては再処理のグループ1月ベッショになるってことですかね。
0:51:35	はい、宮西でございます。はい。おっしゃっていただいている通りでございます。はい。
0:51:41	はい、規制庁上津がありました。そっか。はい。それならとりあえず大丈夫です。
0:51:47	私から以上です。
0:51:53	芝田支店長。
0:51:54	動かしですけども、
0:51:58	衛藤。
0:52:00	大保さん、近くに来た。
0:52:15	36の82の、
0:52:18	これの確認ですけども、
0:52:22	82のA棟、
0:52:25	常時規制の話が書いてありますけれども、これは、その塩害とかとは特に関係はしてないということ。
0:52:33	あんたらになる。
0:52:36	はい、弓削西田でございます。塩害と関係する方塩害はどちらかという外部の環境下に入れ
0:52:47	塩ですね、それが腐食なんかの影響腐食が起こるっていう観点では、規制も同じなのかもしれませんが、対象としているものが、どちらかという従来事項で水を供給する水供給するもののネタが、
0:53:01	フジノが見たい喫水コウになると、入ってくる水抜き数字になる可能性があってそれが系統に対して悪さをしないかということを考えなきゃいけないということで
0:53:13	ミナミなきゃいけないポイントが若干変わるので、そういう意味では
0:53:18	材料の県令性という側で、在庫側での考え方を整理しようかなと思ってたところでした。はい。
0:53:27	はい、わかりました。ちょっと確認しただけです。あともう1点ですけども、

0:53:37	5 ページ目の 30 番ですけれども、実はこれ
0:53:42	31 番目の 30 番ですけれども風竜巻
0:53:48	凍結云々とか書いてあってこれが、
0:53:51	竜巻のところで、36 条の 121、122 で展開というふうに竜巻のところでなぜ展開してるんですけれども、121 番の方とか見ると、
0:54:05	この 30 番で書いてある
0:54:07	森林火災とか、科学的生物学的影響とかが入ってないような、
0:54:13	形なので、ちょっと少し漏れがあるのかなという気はするんですけれども、この辺は今後整理されていくとかっていうことで、
0:54:32	下に聞こえてますか。
0:54:33	聞こえますでしょうか。はい、聞こえてますはいすいません。
0:54:45	はい。野木ニシウラでございます。また
0:54:48	それぞれのところで要求事項があってそれを、どこで設計をブタ展開下野してきたというのをそれぞれちゃんとまずセッティングしていくと、どっかに飛ばし回すと言ってしまうと何かそこでの責任も消えてしまって、そこでの要求が何なのか。
0:55:06	本当に具体化展開できてのわかってのわからないので、そういったところの整理をまずちゃんとやると、いうことだと思ってます。飛んだ先で、多分おっしゃる通り抜けてるのは
0:55:19	まず飛ばしてる番号が足りないんじゃないかという、多分危険性は多分、だから、わかったよ、あなたは駄目だよ。
0:55:32	竜巻だから竜巻って言われてもじゃ他でも拾えてるかなきゃいけないみたいな、老朽種ですからきちんと、
0:55:43	紐づけていう縦軸は、だから 30 番が全部行ってないと。
0:55:49	これだから、マルつけなきゃいけないものが全部抜けてるってことで、なのでちょっとアノコサクさんからさっきのコメントを竜巻として伸び切らなきゃいけないことが何なのかっていうのをしっかりここでのできれば、一応解決をするし、他のね生まれている人は、
0:56:05	この他の現象に対して、位置的分散で何か、健全性を担保しようと思ってる事象がほかにならなくていいことでも建屋内に保管しない。
0:56:15	コサクです。
0:56:18	瀬川さんの考え方を根本から見直さないといけないんですけど実際に物があるかどうかじゃなくて、方針としてそういうふうに謳っているんだから、
0:56:28	それについてどうしてるのかを説明しなきゃいけないんですよ。

0:56:32	ここでバーにしちゃったら説明しないになっちゃうから、問題があって、基本設計方針の書きぶりで関係するならもう0なんですよ。
0:56:41	その上で、
0:56:42	展開DBとセットでってなった時にセットしたときに、重大事故についてはこういう対応でこの方針のこの部分はものとしてはありませんという説明に、
0:56:53	すればいいんじゃないかと、ここでバーにしたら駄目です。
0:56:56	うん。多分、宗外間、丸のつけ方の考え方をきちんと整理して、結局やって、建屋内に保管するか。
0:57:07	どちらか、他の手段で同時機能喪失に木口さんからかみみたいなことがあったときに、この説明をしなきゃいけないね。はい。
0:57:16	その設計が達成できてるかは、おっしゃる通り、この設計方針がカバーしてる現象は何だと言え、ここ野瀬 30 番に出てきてるアノ現象すべては0なんですこれ0に決まってるんですね。
0:57:30	そうなるから、ベビーとコラボして何かを説明したいところです。そうですねそこに、
0:57:40	SAの有給が全部カバーできてないんで、そっちもそうです。
0:57:46	はい。すいません。はい。ちょっと整理を改めてはいます。はい。
0:57:52	コサクです。今の話でいうと、
0:57:57	丸付けとして関連するものは、まずピックアップしましょうと。
0:58:02	いうのわあ、今ので認識共有できたと思うんですけど、その上で、DBとの違いがあるからDBに振らずにここで説明し切りますっていうのを、
0:58:12	作りたいってことですか。
0:58:16	はいニシダでございますいくつか例えば一番右側に 36 条改定に最初この作業始めたとき、江川先生もそんな思いはあったんですけど、
0:58:28	それは一旦、まず忘れてくれと言ってちゃんとここで説明するために、追加要求がなんかここにちゃんとこういうSEとして追加があるんだよと認識した上で、
0:58:40	竜巻や竜巻の中であわせて説明をしていくという整理が最終ゴールとしたと思って、整理をして欲しいという話はしてますんで、そこは、
0:58:52	聞いてると思ってるけど残ってる。
0:58:55	残ってる。
0:58:58	0 長コサクです。多分ですね 1 ページの 2 ポツの最初の丸の説明で、DBの設計に準ずる箇所。
0:59:09	って言ってるので。うん。なので今の瀬川さんの発想になるんだと思うんですよ。いやこの位置的分散なり何なりはDBじゃなくてSA単独の、

0:59:19	独特の要求だから0じゃありません。
0:59:22	言われたらなるほどねとは思うですよ。なんですけど、表で見た時にバーにされるとその説明どこに行くのみたいになっちゃうので、やっぱり〇〇じゃなくてもいいんですよ三角でも何でもいいんですけど。
0:59:35	説明する項目だっていうマーキングが必要なんですよ。
0:59:39	では行って、ここで仕分けしたいんだったら仕分けするでいいんですけど、そういったところはじゃあどこで説明しますか、どこで切り分けますかっていう議論ができるようにしてください。
0:59:52	はい。乳井の伊勢でございますはい、承知いたしました。はい。私が思っていることと瀬川さんが思っていることがまだ言っていることも含めて、はい。
1:00:03	内容の前提をまず整理した上で、
1:00:07	検討を進めますはい。
1:00:09	ここに来てみたら、
1:00:21	あれ、聞こえてますと規制庁コサクです。
1:00:24	そういう状況だとするとですね。
1:00:27	改めて整理をして、
1:00:31	確認し直さなきゃいけないかなと思うんですけど。はい。はい。
1:00:37	できるかもしれないんだろうっていう。
1:00:40	そういう状況に陥ってまして。
1:00:44	はい。
1:00:46	ええ。
1:00:50	速水リベンジをしないと。はい。
1:00:53	そうですね。はい。
1:00:56	リベンジとか、よくないけど、よくないです。阿久津町コサクです。
1:01:02	早めにやった方がよくて今日のって18ページあるじゃないですか。行の番号だと211もあるということなんですけど、いつかサンプリングして、
1:01:17	こういうような方向性でやっていきますと、そのサンプリング網羅してなくてもいいので、
1:01:22	今主要だと思ってるものをピックアップして、こういうのをこういうパターンのものはこういうふうに、
1:01:29	やろうと思ってます認識合ってますかねっていうぐらいで、早めに、
1:01:33	ワンタッチしてもらえますか。
1:01:37	はい。大家ニシダでございます。はい。承知いたしました。はい。
1:01:43	藤原さんオカSIMMERす

1:01:48	はいフジワラですねと私もこの資料のリバイスとかどうするんだろうと思 ってたので、ありがとうございます一部を、
1:01:58	サンプルとして確認させていただくのをお早めにしていただくということで 理解しました。
1:02:04	思ったより読みが深かったのでちょっと最後の方でびっくりしましたけ ど、まずは
1:02:11	石原さんと瀬川さんの認識を合わせて、その上で整理をして、早めに提 示いただくというふうに理解しましたので、
1:02:19	で、
1:02:22	その話があるのでそれを早めにごできてしまえば、この表の整理、ざっと して、
1:02:31	その上で細かい点は少しまだ整理がってという話はあるかもしれませんが けど、前に進めていけるのかなと思ってますが、その早めってどれぐら いとかっていうのはまだ、
1:02:43	農協なんで、あれですかね。
1:02:46	今週中にみたいな話とかもまだできなさそうですか。
1:02:54	僕も目的に資料出すの。
1:02:57	金曜日の今後の進め方で、少し、
1:03:01	講師の意味がわからない。
1:03:02	少し出して、進め方で、はい。
1:03:11	はい。
1:03:13	コサクです。うっすらとしか聞こえてないので確認ですけども、ぜひだか らあれですね、資料4の話と同じように、木曜日提出の金曜日のヒアリ ングで、
1:03:28	サンプリングで、はい、方向性の認識合わせをして、よければ全体に展 開をして、この資料のリバイズに入る。
1:03:37	はい。
1:03:39	はい、わかりました。
1:03:45	はい規制庁、梶原です。
1:03:47	そしたらこの資料リバイスの話も出ましたので、今後整理していただい て今週中に確認できるということで、この資料、
1:03:57	SAの整理ですね、この整理の資料の中で僕は
1:04:01	規制庁側から何か確認したい項目って、他にありませんでしょうか。
1:04:06	規制庁笠田です。
1:04:08	カミデどうぞ。

1:04:12	カミデです。さっき話をしたJBがグローボックスって、第2回はSA設備じゃないですよっていう話で、ちょっと今資料1を見てみると、
1:04:26	JBはないんですけど配管とかで言うと、申請時期がこんなんで、何かSA設備のふぐ当たってるようなものが見えるんですけど、これは関係ないですっけ。
1:04:40	換気系のダクトが言います。GBとは関係ないというか再
1:04:46	工程室の換気のダクト、あとは、
1:04:52	Bの換金も要るかな。
1:04:56	楽とが、経緯でいいですね。はい。
1:05:00	はい、規制庁カクダクトとかダンパ関係、あと、フィルタユニットなんかも見えてて、ユニットはいいんですけど、ダクトとかだと、グローボックスに繋がっててそうなっちゃうと結局関係ありますねみたいなことになんないのかなと思っ
1:05:16	てるんですけど、今何かこう、事実関係としても、
1:05:20	切り分けられますよって感じですか。
1:05:23	これは与儀西尾でございますはいちょっと整理をして、もう一度説明できる。
1:05:29	タイミングを作りますはい今回、
1:05:35	あれですがミヤサキニシヅルnoアカセていうのはGB繋がってるJBとの関係での、ああいったこととかの支持構造みたいなものも、1.2Ssの関係で説明しないといけないとすると今回に関係するんじゃないのかってことですかね。
1:05:51	はい。規制強化です。具体的に言うと、もう共通12のグローボックスの管台のところ、反力に耐える設計それは何なんだったって感じなんですけど。
1:06:03	その反力がSsじゃないってことになっちゃって、関係の数字、会合で言ったみたいに直接支持構造物っていうことでもあると、評価もしなきゃいけないしって言って、
1:06:15	どうなってるかなっていう感じなのでまたお話できると思いますがそままでまず事実関係を伝えておいてください。わかりました。承知しました。はい。
1:06:28	前の金曜日に、事実関係説明できるようにしておきます。はい。
1:06:33	はい。私からは石森です。
1:06:37	規制庁コサクです。
1:06:40	まだワンクッションあるところで聞くのもなんなんですけど、

1:06:45	この整理ができる等、DBがワーでの竜巻課税凍結といったところの説明の中で、
1:06:55	SAはっていうので、同じだったら一緒にあるし、違う部分を明示して、その部分を具体説明していく形をとるわけ。
1:07:05	いうこと。
1:07:06	なんですけど、
1:07:09	資料ヒアリングの資料としては、その次のフェーズっていうのはどういうふうになるんでしたっけ。
1:07:17	はい。二本木西原でございます。はい。
1:07:24	え一つとですねもともとあれですね、前出してた形がいいかどうかをもう1回考えなきゃいけないんですけど以前パワーポイントの形で溢水とか、
1:07:36	樁ですかねBでやって設計のプロセスなりを書いてそこに、Dで言っている条件、これ溢水とか竜巻でいくと、明日やる資料の添付1みたいな。
1:07:52	特に出てくる設計の内容等、これで急いで整理したところで紐付けます。さらに、要求がプラスでありますみたいなものを、
1:08:03	あるのかないのかも含めてそれがコラボした形の資料が、
1:08:09	できてきて、じゃあ、8条なり12条でどういことを全体、資料23で設計展開する必要があるのかねと。
1:08:20	いうところに繋がっていくと思っておりますが、ちょっとそのつなぎの次のステップの資料具体的なイメージ、早めに作って、こういうことで整理を紐付けしていきます。
1:08:31	いうことが見えるように、見える化し、お出しをして話ができるようにしたいと思えます。はい。
1:08:38	はい、小阪ですよろしくお願いいたしますそれが
1:08:42	先ほどの瀬川さんとの差分だったところの、DB引き継がないで言うっていうこと。
1:08:51	との関係っていうのもあってそれ位、何らか符号をつけてもらえばですね、この事象についてっていうので1シキイ次の資料作っていただいて、
1:09:02	これはSAとしてこういうふうにしますんでこの部分で引き継ぎます、DBとのセットでこういう説明をしていきますっていう、全体像がわかると思うのでそういう形で進めてもらえればと。
1:09:16	思います。進め方日ヤノ資料だと、
1:09:23	これの資料の次はDBSAの紐づけ整理と、
1:09:27	いう形で入って共通12ってなってるので、

1:09:33	紐づけだけじゃなく全体の整理っていう感じでやってもらおうと。
1:09:40	紐づけ生の言葉のままでも多分今、思いますので、はい。はい。よろしく お願いします。
1:09:46	はい。宮城ニシダでございますはい。承知いたしました次のステップを おっしゃっているところがまさしくそのステップだと認識をしておりますので、 そこでどういうことで整理をしていくのか。
1:09:58	それが共通にどう繋がっていくのかということも含めて、はい。展開をし ていきたいと思います。はい。
1:10:07	はい。補足です。それで言うとあれですね竜巻溢水、その他事象ってい う3点で進められるっていう理解でいいんですね。
1:10:17	はい。入社でございます。はい。そういうつもりで、今後の進め方でも三 つの枠で走らせていただくということで考えてました。はい。
1:10:27	はい。補足ですわかりました。
1:10:30	竜巻だと位置的分散の話の扱ってというのが出てくるかなと思います し、
1:10:40	それで議論してその他での展開としてプラス議論すべきことみたいなこ とがあるかなとは思っていますので、
1:10:48	この次のSAの要求事項の整理で、議論するのか、ひもづけ整理議論 するのかちょっとよくわからない状況には今なってますけど、
1:11:00	どこでどうしていきたいかっていうのも含めて
1:11:04	金曜日のヒアリングで話ができればいいかと思っています。
1:11:10	はい。宮城ニシダでございます。はい。集計いたしました。はい。
1:11:19	規制庁の荒井ですけど、よろしいですか。
1:11:24	はい。
1:11:27	立抜き地震については10月の5日にヒアリングを確かやって、もう 先回りして、DB訂正をコラボしたらこんなふうになりますっていうイメ ジみたいな出てきて、おそらく、
1:11:40	その通りに収束するのかなと思っていたところなんですけど、Dの方 については設計項目等、その設計項目の考え方っていうところで、
1:11:53	整理を今してるんですけども、SA側って、今回の資料だと設計項目とそ の考え方っていうのは、特に示さなかった理由ってあるんですか。
1:12:03	10月5日の資料だと竜巻についても、設計項目の考え方を整理して、 それで配置設計ですとかっていう説明が実績分散のところであったと思 ってるんですけど。
1:12:16	はい、荻野石田でございます。はい。そこも含めて36条をどうやってい くかここでDBとのコラボということをしてますけど、結局、コラボした時に 先ほどの、

1:12:33	追加の要求も含めてですけど、どうやってDBのやって中に載せていくかということで、おのずと設計項目が決まっていくと思ってまして。
1:12:45	SA単独で何らか設計項目をつけるということではないのかなと思ってました。そこも含めて、元に戻る。
1:12:58	ガイドでちゃんといろんな整理をしていくこういう人たちっていうのがいるよということも含めて整理をしていくときの考え方を示していくのかなと。
1:13:09	持ってました。はい。
1:13:11	はい。そういう意味だと、あれなんですかねもうガイドの方で、そこは、設計項目というのは、ある程度、
1:13:20	です。
1:13:22	設計方針の段階で振り分けるのは、DBと共通してる部分もあるので、基本設計方針のところでおかしいところを追加要求としてあぶり出して、
1:13:32	今回の整理をするっていうところを、
1:13:36	何ていうか、
1:13:38	着眼に置いてるっていうか、以前の整理にはせずに、こういうやり方にしたいということなんですけど、ただ、今やっている作業が、資料2に、での
1:13:54	設計項目なり、そこでどういう設計をするかと言って資料3で展開する内容をどうやって決めていきたいと思いますかねどうやって整理していきたいと思いますかねと、前段の整理だと思っていて、
1:14:07	この整理をすると、先ほど古作さんが言った次のステップが大アノンまだ見えないよねっていうところの、DBとSAで紐付けるところが、DBでやってる設計の各ステップなり項目と、
1:14:21	整理言ってるこの紐づけをするといったものがどうコラボするんですか、どこにどういう要求を課するんですかってところが、多分整理できるとですね、結局は資料に入れて設計項目って、SA側ではどう割り付けて飛ばせばいいのかみたいなところも含めて、
1:14:38	整理ができるのかなと思ってました。そういうことを整理していったって、資料2でやるべきことっていうのが衛生上の特徴があるんであれば明確にしていくと。
1:14:50	いうことかなと思ってます。はい。
1:14:53	わかりました。
1:14:55	飛ばすっていうか、やり方じゃなくてまだその前段にいて、これからどうするかっていうのを、また検討していくっていうそういう感じですかね。そうですね。はい、日本イシダでございます。はい。当然最終形のイメージ

	はあってそのイメージに向かって増え積み上げていきますけど、その状態までまだ
1:15:14	アウトプットは行けてない状態の途中段階だと思ってますので、はい、そのステータスであるということがまず前提ですはい。わかりました。
1:15:25	以上です。
1:15:33	清町の藤原です。
1:15:36	この資料で、目のため1点確認なんですけど木曜日に出てくるそのサンプルの資料って、横軸も整理されてるとかっていいですか。
1:15:48	はい、宮城西原でございます。
1:15:50	もちろんでございます。はい。
1:15:53	規制庁の梶浦ですわかりましたでは木曜日の資料を楽しみにしています。衛藤がなければ、
1:16:00	見返りですかね。
1:16:04	このまま続けてやりますか。
1:16:08	はい、米澤でございます。はい。続けてやります。はい。はい、じゃあよろしくお願いします。
1:16:18	はい。乳井の石田でございます。はい。
1:16:21	まず本文での、このやってることの目的をちゃんと整理した上、明確にした上で、目的との関係で、作業でやること、特に1店舗で作るときの縦軸横軸の示し方、
1:16:39	また中での表の中での、何を示すべきかということをしっかり整理していくということをさせていただきます。はい。あとは
1:16:51	冒頭宣言の整理の仕方のところの一部おかしなところもありました逆流世帯するところもありますんでそういったところは、しっかりと整理をしていく必要があると思ってます。はい。
1:17:05	あとは先ほど横井カトウでDBとのコラボをどうしていくかという視点で今ないものもちゃんと足して、耐震とか津波とか在庫とか、
1:17:16	いうことも、整理をして出していくということでございます。はい。
1:17:22	そういう意味では試験検査せんとの案いうとの関係性というのも含めて横軸は提示をしていく。
1:17:30	ということです。はい。
1:17:32	あとは表の中での記載については、
1:17:40	Dでやってること等違いも含めて、コラボしていくものと、もともと条文があつてそちらで展開をしていくものと、
1:17:49	いうことのタイプがありますんで、後者のものについてはその条文の展開も含めて、この資料の確認をしていく必要がある。

1:18:00	ということだと認識をします。はい。
1:18:03	あとは、
1:18:09	ということかな。
1:18:12	あと
1:18:15	外部火災でのマルチの仕方だったり、航空機落下だけがいきなり丸がついていただいて、いろんなここ、
1:18:25	ご指摘ありましたけども含めて、全体先ほどの目的に沿った整理をしていくということで、今週の木曜日 2、
1:18:33	本文の、
1:18:37	修正版の値と、あとサンプルとしての項目いくつかピックアップして、
1:18:43	丸木下様ですねこういうふうには整理をしていくんだということのイメージがわかるようなものを、提出をさせていただいて金曜日の角田平出ゴウさんの確認をさせていただくと。
1:18:54	ということだと思ってます。あとは次のステップでのディー・ディー・エスへの紐付けの整理これも目的だったり、どういったことを整理していくのか、どういったあとポイントで示していくのかと。
1:19:06	ということのイメージも早めに提示をさせていただいて、今後の作業へのつながりをさせていただきたいということで宿題だと思ってます。
1:19:15	はい。以上です。
1:19:21	規制庁の橋村です。今の振り返りについて、規制庁側から何かありますでしょうか。
1:19:32	なければ全体通して特に規制庁側から、
1:19:37	原燃側から何かありますか。
1:19:42	特にございません。
1:19:45	はい規制庁の藤原です。ないということで、このSAの要求事項の整理の部分のヒアリングを終了したいと思いますので、
1:19:55	本庁側、向こうの停止をお願いできますか。